

60-3201
1200501270815

60
20

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

始



LEHRBUCH
DER
AKUPUNKTUR
UND
MOXIBUSTION

閱校生先彰行村上
著編梧新本山

書科教學灸鍼本日

病 經
理 穴
學 學
編 編

版拾第訂增編後

部版出院學灸鍼西關

手の太陰肺經之圖

拾壹穴



手の陽明大腸經之圖 貳拾六



足の陽明胃經之圖



足の太陰脾經之圖

貳拾壹穴



手の少陰心經之圖

九穴

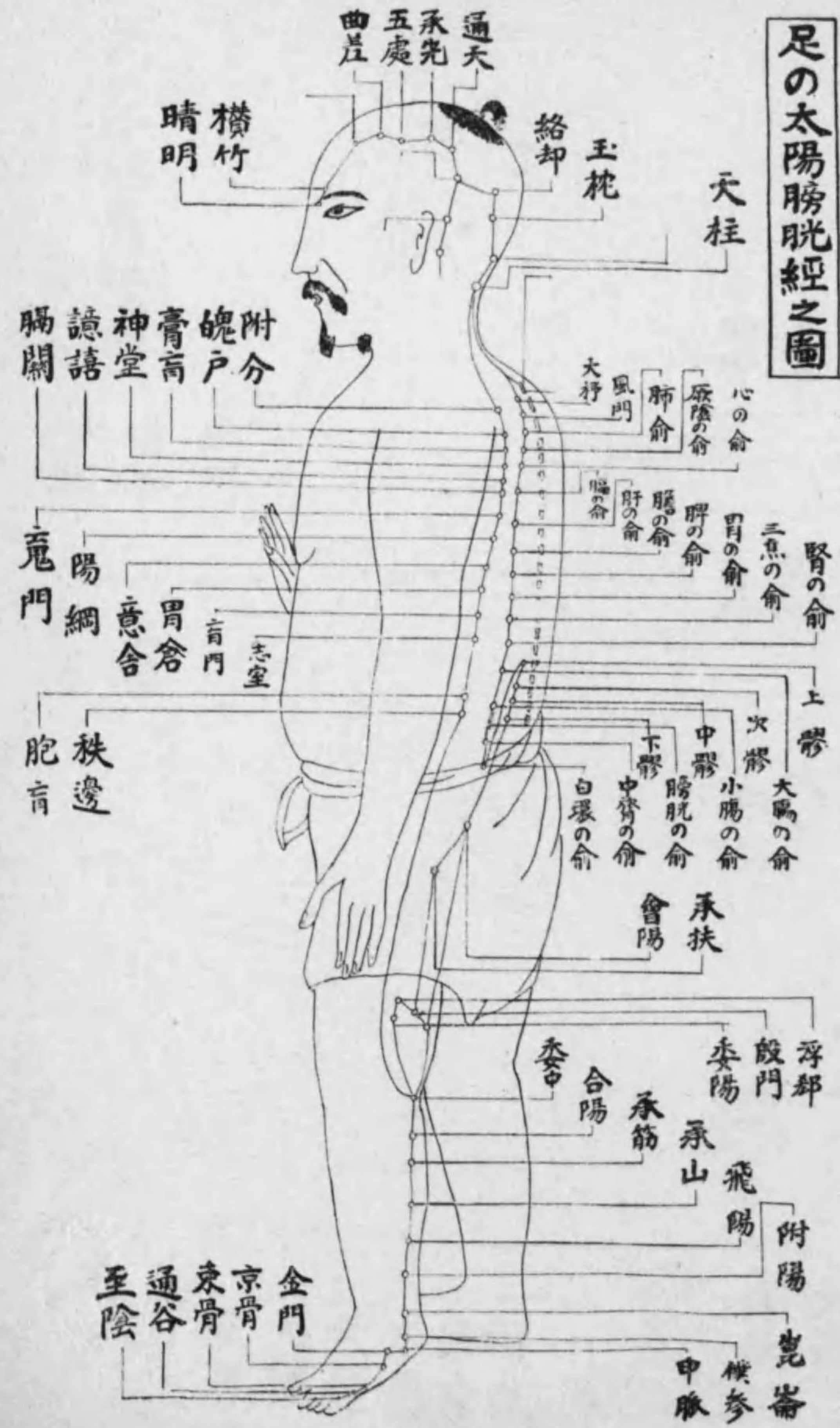


手の太陽小腸經之圖

拾九穴



足の太陽膀胱經之圖



足の少陰腎經之圖

貳拾七穴





手の厥陰心包經之圖

九六



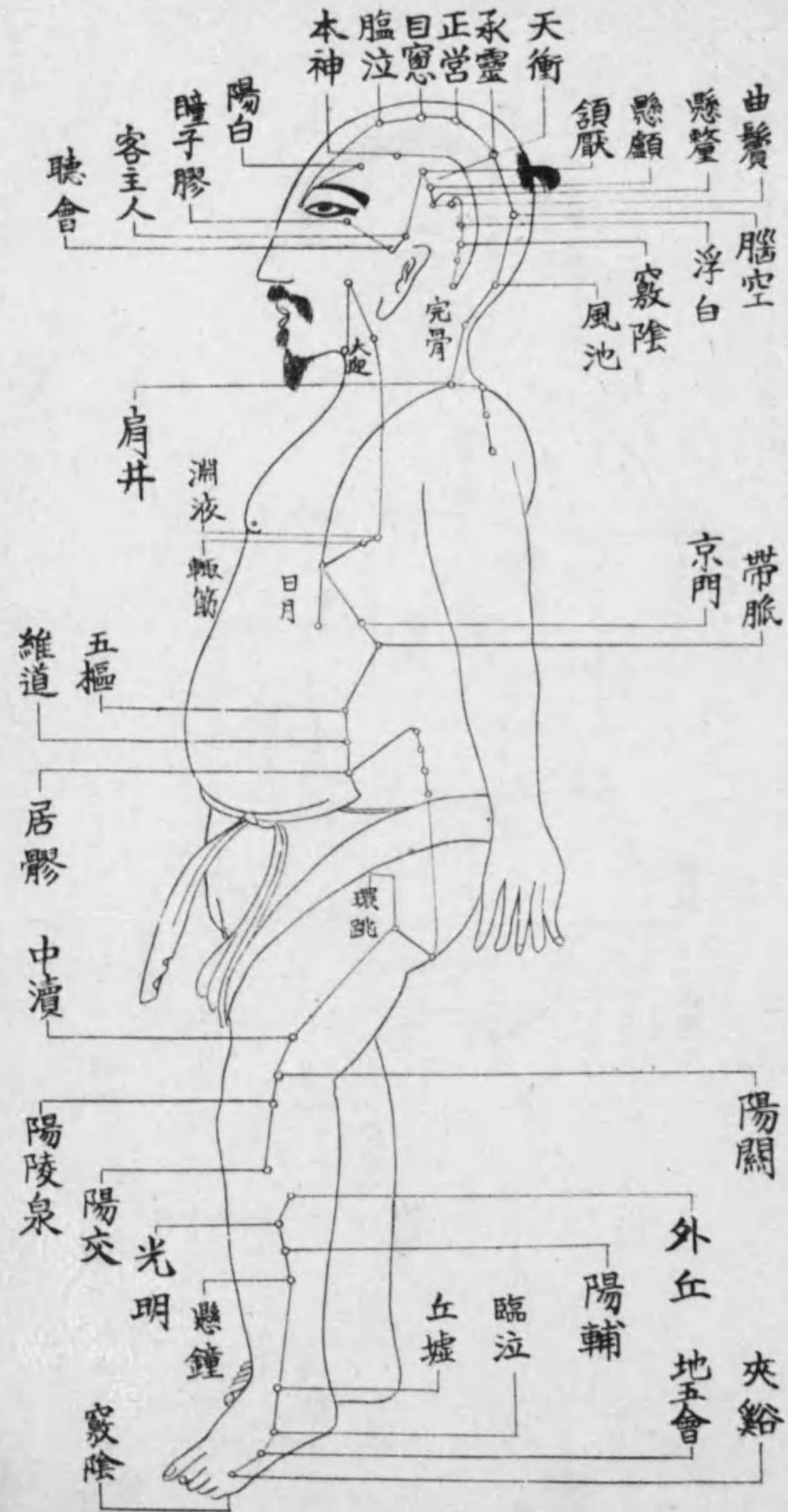
手の少陽三焦經之圖

貳拾參穴



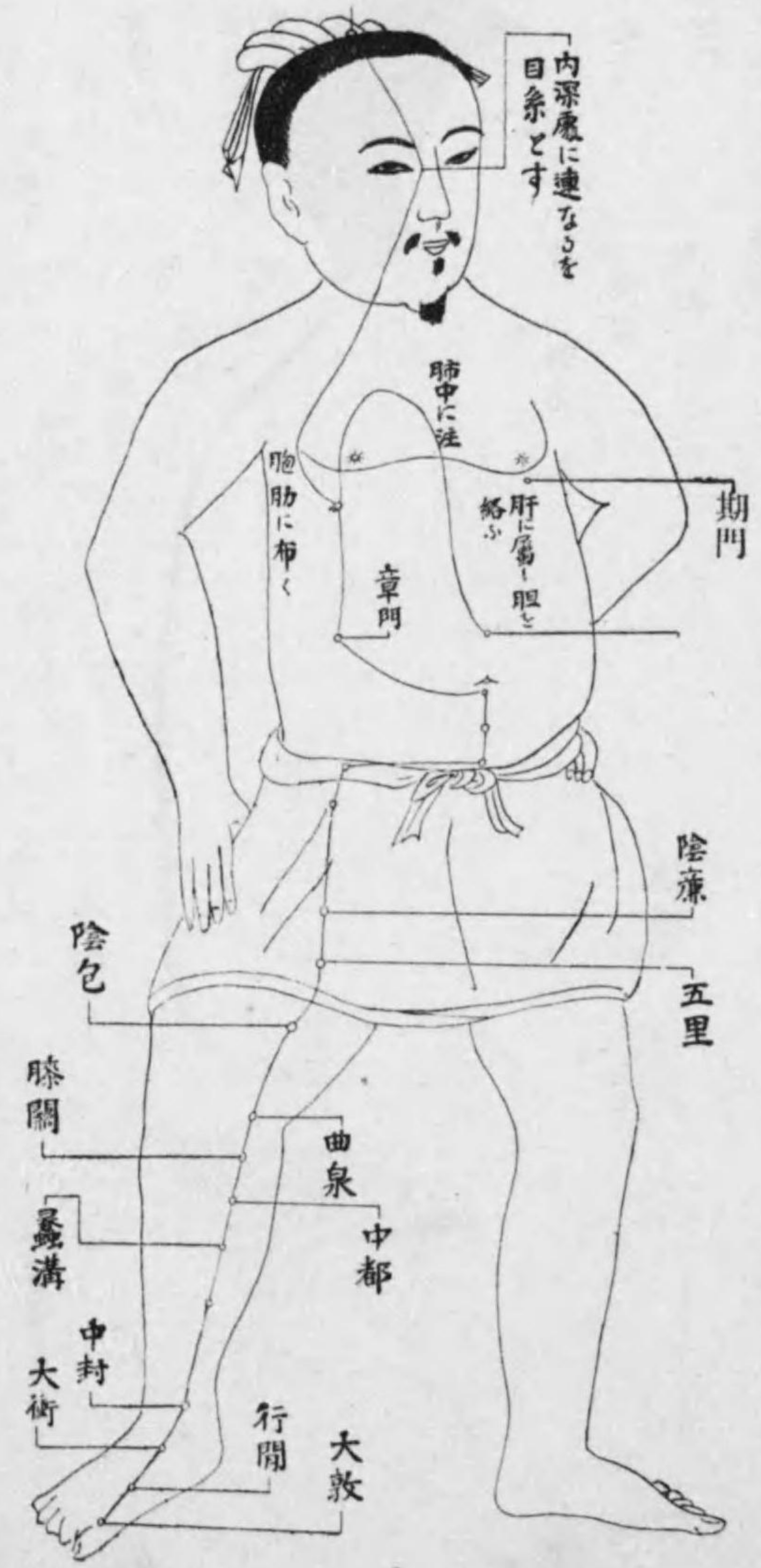
足の少陽膽經之圖

四拾参穴



足の厥陰肝經之圖

拾参穴



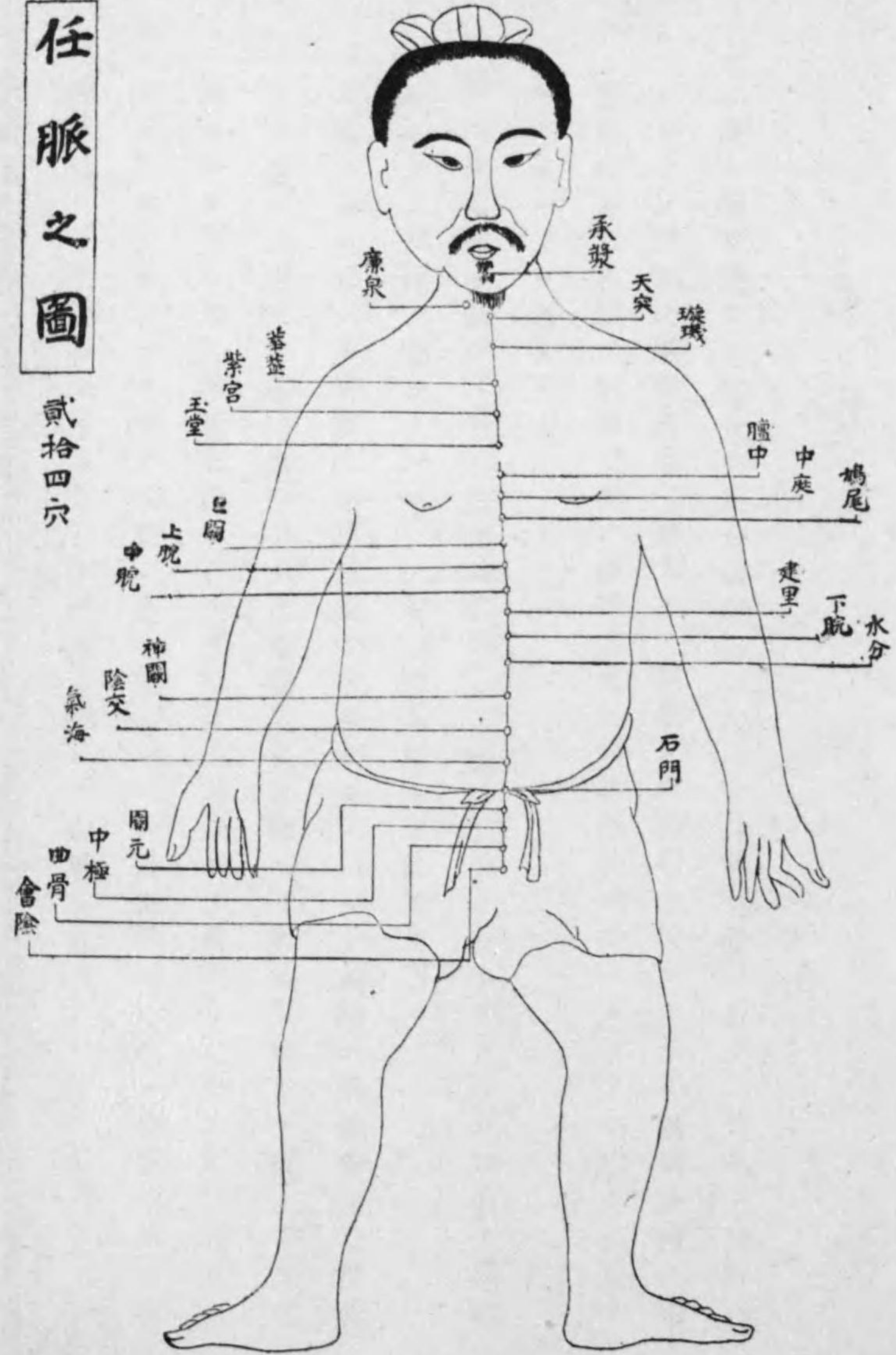
督脈之圖

貳拾七穴



任脈之圖

貳拾四穴



凡例

一、本書ハ編ヲ分ツテ經穴學及ビ病理學ノ二トナス。經穴學ニ於テハ穴名ノ暗記法トシテノ穴歌ト鍼術灸治ノ要穴トヲ列舉シ、病理學ニ於テハ凡ソ鍼術灸治ノ適應症并ニ禁忌症ヲ網羅シ、悉ク原因症候及ビ治療法ヲ始メ、スベテ治療上必要ナル可キモノヲ細說セリ。

一、十四經發揮ニ據ル穴歌ハ、稍ヤ時代遅レノ感アレドモ、初學者ヲシテ穴名ヲ暗記セシメンガ爲メ録シタルモノナレバ常ニ稱ヘテ記憶ス可シ。

一、穴名ノ上ニ記セル符號ハ、禁鍼、禁灸ヲ示セルモノニシテ▲印ハ禁鍼、●印ハ禁灸トス。而シテ從來ノ經穴書、一トシテ禁鍼禁灸ヲ載セザルモノ無シト雖モ、皆ソヲ異ニシテ、實ニ大久保適齋氏ガ言ヘル如ク禁穴決シテ禁ナラズ、要穴必ラズシモ要ナラザルモノアリ、要ハ諸氏ガ是レ迄研究セシ解剖學ノ智識ニ對照シ以テ取捨ス可キナリ、然レドモ本書ハ十四經ニ從ヒテ記載シタリ。

凡例

一

一、經穴學ニ説ケル經穴ノ名稱、取穴法、位置、解剖學的關係等、何レモ學說トシテ從來ノ研究以上ニ出ヅルヲ目的トセズ、在來研究セラレシモノニ準シ、專ラ簡明ニシテ記憶ニ便シ、兼ネテ應用ノ方面ニ全カヲ傾注シタリ。

一、別穴(患門、四華、騎竹馬)奇穴等ノ取穴法ヲ舉ゲシモ、此應用ノ一端ニシテ、現今ノ經穴書ニ見ザル處、但シ紙數ニ限リアルヲ以テ、奇穴ノ如キ僅カニ其一班ヲ知ラシムルニ過ギズ。

一、經穴ハ骨學ニ準據シ、解剖學的ニ分類シテ、順次記述シタリ、例ヘバ、顛頂骨ニアルモノハ、頭蓋ノ腦頭蓋部ニ、額骨ニアルモノハ、同ジク頭蓋ノ顔面頭蓋部ニ屬シ、薦骨ニアルモノハ、腰椎ノ腰部ニ、腸骨ニアルモノハ、下肢ノ骨盤部ニ隸スルガ如シ。此分類法ハ、未ダ前人ノ之ヲ用ヒシモノアルヲ聞カザルモ、其便ヤ、十四經順部位分ケ等ノソレトハ、同日ノ論ニ非ラズ、更ニ索引トシテ、卷末ニ穴名ヲ五十音順ニ配列シタル發音引ヲ附シタレバ、一層便ナル可シ。

一、經穴ハ成書ノ記スル處、皆其取穴法ヲ異ニシタリ、或ハ七尺五寸ノ人ヲ以テ、常寸ト爲シ、或ハ中指ノ第二節ヲ以テ一寸トシ、或ハ拇指第一節ヲ横ニ度リ、以テ一寸ト爲ス等、一定セザレバ、單ニ寸法ノミヲ聽クトキハ、何レノ文法ニテ度リシヤ、知ル可カラズ、誠ニ不便ノ至リト云フ可シ。依ツテ本書ハ、普通ノ體格ヲ具フル成年男子數人ニ就キ、曲尺ヲ以テ一々實地ニ尺度ヲ定メタルモノナレバ、稍ヤ正確ニ庶幾カラム乎。然レドモ、各人ノ肥瘦、長短ハ、勿論、小兒、婦人及ビ發育不全ノ者ニ對シテハ、之レヨリ宜シク其尺度ヲ斟酌セザル可カラズ。

一、本書ノ卷頭ニ挿入セシ經穴圖ハ、前人未創ノモノニシテ、未ダ試ミラザリシ骨格、筋肉、血管及ビ神經ヲ着色ヲ以テ、現ハシ、解剖學的關係ヲ明カニシタリ。是レ全然余ノ創作ニシテ、多少苦心ノ存スル處ナリ。看者之ニ依テ得ルトコロアレバ、幸ヒ甚ダシ。

一、經穴學ノ終リニ附載シタル「取穴法」ハ、何レモ「困學穴法」ニ據リテ記載シタリ。

一、病理學ハ、深淵廣汎ナル學科ニシテ、其範圍頗ブル弘ク、從ツテ醫學ノ濫奧ヲ窮メタルモノニ非ラザレバ、輕忽ニ筆ニス可カラザルモノナル事ハ、論ヲ俟タザル處

ナリ、故ニ専ラ諸大家ノ諸著ヲ拔涉シ以テ鍼術灸治ニ適應セル必要ノ疾患并ニ不適應ナル所謂禁忌ノ疾患ヲ摘録シテ其一端ヲ記シ以テ吾ガ關西鍼灸學院ノ教科書ト爲シ、併セテ初學者ノ軌範ト爲サムトセリ。

一、病理學治療法中ノ刺點灸點ハ稍ヤ多キニ過グル嫌ヒ無キニアラザレトモ、畢竟初學者ノ參考ノ爲メニ記シタルモノナレバ術者宜シク取捨撰擇シテ施術ス可キナリ、尙ホ治療法中刺點灸點ヲ併記シアリト雖モ、必ラズシモ鍼灸ヲ同時ニ併用セヨトノ意味ニアラザレバ讀者其心シテ見ル可シ。

一、古書ニ記セル對症的刺點灸點ハ其理ヲ推究スルニ苦シムガ如キ散漫ノモノ多シ、斯ル飛火的ノモノハ徒ラニ記憶シ難キノミナラズ、其効果モ又明カニシ難キモノ多キヲ以テ、本書ハ専ラ解剖學及ビ生理學ノ上ヨリ學理的ニ定メタリ、サレド古法ト雖モ取ルニ足ル可キモノハ努メテ之ヲ採用シタリ。

大正五年八月孟夏

著 者 識

取穴の寸尺標準表

古來より取穴に用ひられし尺度は、或は「靈樞」の所謂骨度法に據るものあり、或は患者の中指中節の長さ、若くは拇指末節の幅を以て一寸となす所の同身寸に則るものなごありて一定せず、學者をして其據る所に迷はしむるが、本書は此缺點に鑑み、世人の最も目馴れたる曲尺に準據し、中等度の成人を標準として其寸尺を記載せり、從つて婦人、小兒等身體の大小に従ひ、須らく之を斟酌するを要すべく、故に左に中等成人の各部に於ける標準寸尺を掲げて之が斟酌の便に供する事とせり。

身長五尺三寸 體重拾四貫

頭蓋之部

前髮際より後髮際迄、一尺二寸、外後頭結節より第七頸椎迄、六寸、前髮下際より頤部迄、七寸、兩耳間、後八寸、乳嘴突起間、六寸、頭蓋骨の周圍、一尺八寸

胸腰之部

取穴の寸尺標準表

胸圍二尺九寸、腰圍二尺七寸、第七頸椎以下尾閶骨端迄二尺一寸、甲状軟骨より胸骨劍柄上端迄一寸八分、胸骨劍柄上端より胸骨劍尖端迄五寸五分、胸骨劍尖端より臍迄六寸、臍より耻骨接合上縁迄五寸二分、腋窩より腸骨櫛中央迄一尺一寸、兩乳頭間六寸五分

上肢之部

鎖骨外端より肘關節横紋正中迄一尺、肘關節横紋正中より腕關節横紋迄八寸、腕關節横紋より中指基底迄三寸五分、中指基底より末節迄三寸五分、拇指第一節横紋の長さ一寸

下肢之部

鼠蹊溝中央より内上髁迄一尺二寸、坐骨下溝中央より膝窩横紋迄九寸五分、膝窩横紋内端より内髁迄一尺五分、膝窩外端より外髁迄一尺二寸、腓骨小頭より外髁迄一尺五分、膝窩横紋正中より跟骨結節迄一尺三寸、足蹠の全長八寸、足蹠の横徑三寸

經穴學目次

第四編 經穴學

緒言

第一章 十四經發揮の穴歌

第一	手之太陽肺經の穴歌	五
第二	手之陽明大腸經の穴歌	五
第三	足之陽明胃經の穴歌	六
第四	足之太陰脾經の穴歌	六
第五	手之少陰心經の穴歌	七
第六	手之太陽小腸經の穴歌	七
第七	足之太陽膀胱經の穴歌	七
第八	足之少陰腎經の穴歌	八
第九	手之厥陰心包經の穴歌	九
第十	手之少陽三焦經の穴歌	九
第十一	足之少陽膽經の穴歌	一〇
第十二	足之厥陰肝經の穴歌	一〇
第十三	督脈經の穴歌	一一
第十四	任脈經の穴歌	一一

第二章 解剖學的經穴學

第十五	禁鍼の穴歌	一二
第十六	禁灸の穴歌	一二
第一節	軀幹	一四
第一	頭蓋部	一四
イ	腦頭蓋部	一四
ロ	顔面頭蓋部	一六
第二	頸椎部	一六
イ	前頸部	一六
ロ	後頸部	一七
第三	背椎部	一七
イ	胸部	一七
ロ	側胸部(又脇肋部)	一八
ハ	背部	一八
第四	腰椎部	一八
イ	腹部	一八
ロ	側腹部	一八
ハ	腰部	一八
第五	薦骨部	一八

第二節 四肢

第一 上肢之部 九四

イ 肩胛部 九四

ロ 上膊部 九八

ハ 前膊部 一〇四

ニ 手部 一二五

第二 下肢之部 一二一

イ 骨盤部 一二三

ロ 大腿部 一二四

ハ 下腿部 一三〇

ニ 足部 一四三

夾脊灸 一六三

第三章 別穴及び奇穴

長資介氏患門・四華の取穴法 一五四

崔知梯氏四華の取穴法 一五八

同氏第二の取穴法 一五九

騎竹馬の取穴法 一六〇

脚氣八處の灸穴 一六一

竹杖の穴 一六三

山本式經穴之圖

前面・側面・會陰・後面及び足趾之各部

脊背五穴 一六四

五處灸 一六五

階段灸 一六六

小兒斜差の灸穴 一六七

六ツ灸 一六八

阿是の穴 一六九

奇經八脈 一七一

奇穴 一七一

ヘッド氏帶と經穴との關係 一七一

穴名及び所屬經名索引 一七一

附錄 主なる取穴法 一七七

附錄 (卷頭)

經穴學目次 (終)

病理學目次

第五編 病理學

序論 一

病理學總論 三

○細胞病理學 三

○疾病論 七

第一章 病的現象 三

第二章 病變論 三

第一 進行性病變 三

第二 退行性病變 四

(一) 病的化生 五

(二) 萎縮 五

(三) 變性 六

(四) 浸潤 六

(五) 壞疽 八

第三章 炎症(焮衝)論

第四章 腫瘍論

第五章 病因論

第六章 發病論

病理學各論

第一章 呼吸器病篇

附 肉芽性腫瘍 三

第一 外因或は誘因 三

第二 内因或は素因 五

(イ) 個人素因 六

(ロ) 一般素因 七

(ハ) 臟器組織相互の關係 七

第一 急性及び慢性鼻加答兒 九

(一) 急性及び慢性鼻加答兒 九

(二) 鼻血 三三

(三) 急性及び慢性喉頭加答兒 三三

(四) 聲門痙攣 三五

(五) 喉頭筋麻痺 三六

(六) 急性氣管枝加答兒 三六

第二章 消化器病篇

(七) 慢性氣管枝加答兒……………四〇
 (イ) 乾性加答兒……………四一
 (ロ) 氣管枝漏……………四二
 (ハ) 漿液性加答兒……………四三
 (ニ) 腐敗性氣管枝炎……………四四
 (ハ) 氣管枝喘息……………四五
 (九) 肺氣腫……………四六
 (十) 肺臟水腫……………四七
 (十一) 加答兒性肺炎……………四八
 (十二) 肺結核或肺癆……………四九
 (十三) 肋膜炎……………五〇
 (一) 口腔加答兒……………五一
 (二) 鷺口瘡……………五二
 (三) 咽頭加答兒……………五三
 (四) 扁桃腺炎……………五四
 (五) 耳下腺炎……………五五
 (六) 加答兒性食道炎……………五六
 (七) 食道擴張症附食道憩室……………五七

(八) 食道狹窄……………六九
 (九) 食道癌腫……………七一
 (十) 神經性食道痙攣……………七三
 (十一) 急性胃加答兒……………七五
 (十二) 慢性胃加答兒……………七七
 (十三) 胃潰瘍……………七九
 (十四) 胃癌……………八一
 (十五) 胃擴張……………八四
 (十六) 神經性消化不良……………八六
 (十七) 胃痙攣或胃神經痛……………八八
 (十八) 神經性嘔吐……………九一
 (十九) 急性腸加答兒……………九三
 (二十) 慢性腸加答兒……………九五
 (二十一) 神經性腸痙攣……………九七
 (二十二) 常習便秘……………九九
 (二十三) 盲腸炎及其近部の炎症……………一〇一
 (二十四) 腸管狹窄及び閉塞症……………一〇三
 (二十五) 痔疾……………一〇五
 (二十六) 腸寄生蟲……………一〇八
 (イ) 蟻 蟲……………一〇八

第三章 泌尿及び生殖器病篇

(ロ) 蛔 蟲……………一二
 (ハ) 蟻 蟲……………一三
 (ニ) 十二指腸蟲……………一三
 (二十七) 黄 疸……………一六
 (二十八) 肝臟硬化症……………一八
 (二十九) 肝臟肥大……………一九
 (三十) 肝臟充血及び鬱血肝……………二〇
 (三十一) 膽石症……………二三
 (三十二) 急性腹膜炎附穿孔性腹膜炎……………二五
 (三十三) 慢性腹膜炎……………二七
 (三十四) 腹 水……………二九
 (一) 鬱血腎……………三三
 (二) 急性腎臟炎……………三四
 (三) 慢性腎臟炎……………三六
 (四) 萎縮腎或慢性間質性腎臟炎……………三七
 (五) 化膿性腎臟炎……………三九
 (六) 腎臟水腫……………四〇
 (七) 腎盂炎……………四二

第四章 血行器病篇

(八) 腎臟結石……………四四
 (九) 膀胱炎……………四六
 (十) 膀胱結石……………四九
 (十一) 遺尿症……………五〇
 (十二) 膀胱痙攣……………五三
 (十三) 膀胱麻痺……………五四
 (十四) 淋 疾……………五五
 (十五) 尿道加答兒……………五八
 (十六) 睪丸及び副睪丸炎……………六〇
 (十七) 遺精症……………六一
 (十八) 陰萎症……………六三
 ○心臟諸病……………六四
 (一) 急性心内膜炎……………六五
 ○後天性心臟瓣膜障碍……………六七
 (二) 僧帽瓣閉鎖不全……………六七
 (三) 僧帽瓣孔狹窄……………六九
 (四) 大動脈瓣閉鎖不全……………七〇

(五) 大動脈瓣孔狹窄……………一七三

(六) 心胸絞窄痛或は狭心症……………一七四

(七) 神経性心悸亢進……………一七六

(八) 發作性心悸急速症或は急脈症……………一七六

第五章 運動器病篇……………一八〇

(一) 急性關節癱瘓麻痺……………一八〇

(二) 慢性關節癱瘓麻痺……………一八二

(三) 急性及び慢性筋肉癱瘓麻痺期……………一八四

附 痛 風……………一八六

第六章 神経系病篇……………一八八

○知覺神經疾患……………一八八

神經痛總論……………一八八

神經痛各論……………一九〇

(一) 三叉神經痛……………一九〇

(二) 後頭神經痛……………一九三

(三) 頸膊神經痛……………一九四

(一) 橈骨神經痛……………一九五

○運動神經疾患……………二二三

第一 運動神經麻痺……………二二三

(2) 正中神經痛……………一九六

(3) 尺骨神經痛……………一九六

(4) 前胸廓神經痛……………一九六

(5) 長胸神經痛……………一九七

(6) 肩胛上神經痛……………一九七

(7) 肩胛下神經痛……………一九七

(8) 腋窩神經痛……………一九七

(四) 肋間神經痛……………一九七

(五) 腰腹神經痛……………二〇〇

(六) 股神經痛……………二〇一

(七) 外股皮下神經痛……………二〇一

(八) 閉鎖神經痛……………二〇三

(九) 精系神經痛……………二〇三

(十) 坐骨神經痛……………二〇四

(十一) 常習頭痛或は神經性頭痛……………二〇八

(十二) 關節神經痛……………二〇九

(十三) 肢端知覺異常症……………二一一

運動神經麻痺各論……………二二五

(一) 顔面神經麻痺……………二二五

(二) 三叉神經麻痺或は咀嚼筋麻痺……………二二八

(三) 眼筋麻痺……………二三〇

(四) 副神經麻痺……………二三三

(五) 舌下神經麻痺……………二三四

(六) 横隔膜神經麻痺……………二三五

(七) 橈骨神經麻痺……………二三七

(八) 正中神經麻痺……………二三九

(九) 尺骨神經麻痺……………二三九

(十) 聯合性肩膊神經麻痺……………二三三

(1) 上部叢麻痺或はエロブ氏神經麻痺……………二三三

(2) 分娩麻痺或は産科的麻痺……………二三三

(3) 下部叢麻痺或はクルムブケ氏麻痺……………二三四

(十一) 肩胛筋部の麻痺……………二三五

イ 前大鋸筋麻痺……………二三五

ロ 大・小胸筋麻痺……………二三六

ハ 菱形筋麻痺……………二三七

二 潤背筋麻痺……………二二六

(十二) 背筋及び腹筋麻痺……………二二九

イ 背筋麻痺……………二二九

ロ 腹筋麻痺……………二四〇

(十三) 股神經麻痺……………二四〇

(十四) 閉鎖神經麻痺……………二四二

(十五) 下肢神經末梢性麻痺……………二四三

(1) 坐骨神經麻痺……………二四三

(2) 腓骨神經麻痺……………二四四

(3) 脛骨神經麻痺……………二四四

第二 運動神經痙攣……………二四六

運動神經痙攣各論……………二四七

(一) 顔面神經痙攣……………二四七

(二) 咀嚼筋痙攣或は運動性三叉神經痙攣……………二四九

(三) 舌下神經痙攣……………二五〇

(四) 頸筋及び背筋痙攣……………二五二

(五) 横隔膜痙攣……………二五三

(六) 腓腸筋痙攣……………二五五

附 脚 氣……………二五七

- (1) 神經性症……………二五九
- (2) 萎縮性症……………二五九
- (3) 水腫性症……………二五九
- (4) 心臟性症……………二五九

○腦髓疾患

- (一) 腦貧血……………二六二
- (二) 腦充血……………二六四
- (三) 腦溢血又は卒中或中風……………二六七
- (四) 失神……………二七二

○脊髓疾患

- (一) 脊髓炎……………二七四
- (二) 壓迫性脊髓麻痺……………二七六
- (三) 脊髓癆……………二七七
- (四) 大人急性脊髓前角炎……………二七九
- (五) 急性脊髓膜炎或脊髓軟膜炎……………二八一

○官能的神經疾患

- (一) 癲癇……………二八二

- (1) 重症癲癇……………二八三
- (2) 輕症癲癇……………二八四
- (3) 類似癲癇症……………二八五
- (二) 舞蹈病……………二八六
- (三) 多發性對側肌肉痙攣症……………二八七
- (四) 書癡……………二八八
- (五) 偏頭痛……………二九〇
- (六) 歇斯的里……………二九二
- (七) 神經衰弱……………二九七

第七章 法定傳染病篇

- (一) 虎列刺或亞細亞虎列刺……………三〇〇
- (二) 赤痢……………三〇二
- (三) 腸室扶斯……………三〇三
- (四) 「バラチブス」……………三〇四
- (五) 痘瘡……………三〇五
- (六) 發疹室扶斯……………三〇七
- (七) 猩紅熱……………三〇九
- (八) 實布垤里亞或格魯布……………三一〇
- (九) 「ペスト」……………三一

- (十) 流行性腦脊髓膜炎……………三二三
- 附 麻疹……………三二五

第八章 小兒病篇

- 甲 (一) 小兒急癇或子癇……………三二七
- (二) 夜驚症又は睡怖或夜怯症……………三二九
- (三) 小兒消化困難症……………三三一
- (四) 急性腦性小兒麻痺……………三三四
- (五) 慢性腦水腫……………三三六
- 乙 先天性腦水腫……………三三六
- 後天性腦水腫……………三三七
- (六) 結核急性腦膜炎……………三三八
- (七) 小兒急性脊髓前角炎……………三三九
- 附 哺乳兒脚氣……………三三三

第九章 婦人病篇

- (一) 惡疽……………三三四
- (二) 子宮內膜炎……………三三五
- (三) 月經過多症……………三三八
- (四) 月經困難症……………三三九

第十章 眼科病篇

- (一) 眼瞼緣炎……………三四五
- (二) 單純性結膜炎……………三四七
- (三) 小兒急性腫脹性結膜炎……………三四八
- (四) 「トラホーム」……………三四九
- (五) 膿漏眼……………三五〇
- 附 初生兒膿漏眼……………三五二
- (六) 角膜實質炎……………三五三
- (七) 夜盲症……………三五四

附錄 和獨對照術語名彙

……………三五七

病理學目次(終)

日本鍼灸學教科書 後編

(增訂第拾版)

元内務技師從四位勳四等 大阪府鍼灸術試驗委員 上村行彰先生校閱

大阪府奈良縣和歌山縣各鍼灸術試驗委員 日本組合鍼灸會々長關西鍼灸學院々長 山本新梧編著

第四編 經穴學

緒言

往昔より鍼灸治を施すに經穴なるものあり其數十四經に據れば總て六百五十七穴にして之を十四經絡に配分せしめたり即ち手之太陰肺經十一穴手之少陰心經九穴手之厥陰心包經九穴手之陽明大腸經二十穴手之太陽小腸經十九穴手之少陽三焦經二十三

穴足之太陰脾經二十一穴足之少陰腎經二十七穴足之厥陰肝經十
 三穴足之陽明胃經四十五穴足之太陽膀胱經六十三穴足之少陽膽
 經四十三穴任脈二十四穴督脈二十七穴にして右の中任脈は人體
 前側の正中を走り督脈は後側の正中を走るものゝ爲し此二脈に
 屬する穴は無對なれども他の諸經は皆左右にありて鍼術灸治を
 施すに當り缺く可からざる刺點灸點を爲せり而して右の任督二
 脈に衝脈陰蹻脈陽蹻脈陰維脈陽維脈帶脈の六脈を加へて奇經八
 脈と稱し夫々經穴を附せり然れども現今任脈督脈を除くの外は
 殆んど用ひず。
 之を要するに經穴を吾が鍼術灸治の金科玉條として旺んに我國
 に行れしこと既に千有餘年維新以降泰西醫學の輸入せられてよ
 り強弩の餘勢時に魯縞を穿つ能はざるに似たるものありと雖も

そは自然の勢ひにして今や内務省令に據り試験科目の一に指定
 せらるゝに至りたるが如きは寧ろ奇異の感無くむばあらず是れ
 蓋し温古知新の利を認めたる爲めには非らざる歟。
 而して近時經穴に關する書踵を接して出版せらるゝ雖も或は繁
 に流れて記憶し易からず或は簡に失して要を得難きもの尠から
 ざるは實に遺憾無き能はず著者茲に鑑るゝところあり乃ち本書は
 簡にして要を得而かも記憶し易からむ事を旨とし精確なる解剖
 學上の見地より記述したり。
 亦從來に於ける經穴圖は唯だ體形に經穴を記せる耳にして筋肉
 は愚か經穴を模するに當り第一の標準たる可き骨節だも満足に
 描けるは之れあらざるなり是れ亦著者の常に遺憾に堪へざりし
 處依て本書の卷頭に附せし經穴圖には大いに嶄新なる意匠を凝

らして解剖學と對照せしめ以て記憶を確實ならしむ可く骨格は勿論筋肉血管及び神經に於ける經穴の關係を着色數度摺りこなし初學者をして解剖學的關係を一目瞭然に會得せしむる事に苦心慘憺たるものありしは一度本書を繕ける者の皆首肯せらるゝ處なる可し讀者幸に著者が勞を多し以て斯道進歩の一端に供せらるゝことあらば豈啻に著者の幸のみと謂はんや

第一章 十四經發揮の穴歌

第一 手之太陰肺經の穴歌 (十一穴)

手之太陰肺十一穴中府雲門天府に列す。俠白尺澤孔最存す。列缺經渠太淵。涉魚際少商。韭葉の如し。

第二 手之陽明大腸經の穴歌 (二十穴)

手之陽明の穴商陽に起り。二間三間合谷藏る。陽谿偏歷溫溜を歴。下廉上廉三里長し。曲池肘髎五里を迎ふ。臂臑肩髃巨骨當る。天鼎扶突。禾膠接す。終りに迎香を以て二十穴。

第三 足之陽明胃經の穴歌 (四十五穴)

四十五穴足の陽明承泣四白巨髎經る地倉大迎頰車峙つ下關頭維人迎對す水突氣舍缺盆に連なる氣戶庫房屋翳屯る膺窻乳中乳根に延ぶ不容承滿梁門起る關門太乙滑肉門天樞外陵大巨存し水道歸來氣衝次く髀關伏兔陰市に走り梁丘犢鼻足の三里上巨虛條口の位に連なる下巨虛與豐隆に及ぶ解谿衝陽陷谷の中内庭厲兌經穴終る。

第四 足之太陰脾經の穴歌 (二十一穴)

二十一穴太陰脾隱白大都太白隨ふ公孫商丘三陰交漏谷地機陰陵拗し血海箕門衝門開く府舍腹結大橫排す腹哀食竇天谿に連なる。

胸臍周榮大包隨ふ。

第五 手之少陰心經の穴歌 (九穴)

九穴手之少陰極泉青靈少海深し靈道通里陰郄遂し神門少府少衝尋ぬ。

第六 手之太陽小腸經の穴歌 (十九穴)

手之太陽の穴一十九少澤前谷後谿遇ふ腕骨陽谷養老す可し支正小海肩貞走る膺兪天宗及び秉風曲垣肩外復肩中天窻天容顛髎に上る却て耳中に入り聽宮を循ふ。

第七 足之太陽膀胱經の穴歌 (六十三穴)

足之太陽六十三。晴明攢竹曲差參。五處承光上通天。絡却玉枕天柱
 崱。大杼風門肺俞に引く厥陰心の俞隔の俞注ぐ。肝の俞膽の俞脾
 の俞に同じ胃の俞三焦腎の俞の中。大腸小腸膀胱の俞中膂白環兩
 俞輸す。自ら大杼より白環に至る。脊中を相去ること三寸の間。上膠
 次中復下膠。會陽承扶殷門亞く。浮郄委陽委中の罅。體內脊をさし挾
 んで附分當る。太陽行背第三行。魄戶膏肓神堂與。諱膈關魂門の旁
 ら。陽網意舍仍て胃倉育門志室胞之育。二十椎下の秩邊藏る。合膈以
 下合陽是なり。承筋承山其次に居す。飛陽跗陽崑崙に泊ぶ。僕參申脈
 金門に連なる。京骨束骨通谷に交る。小趾外側至陰續く。

第八 足之少陰腎經の穴歌 (二十七穴)

足の少陰二十七穴湧泉然谷大谿溢。大鐘照海通ず。水泉復溜交信。

築賓連る。陰谷橫骨大赫赫かなり。氣穴四滿中注立つ。育俞商曲石關
 躡る。陰都通谷幽門僻く。步廊神封靈墟の位。神藏或中膈府既る。

第九 手之厥陰心包經の穴歌 (九穴)

九穴心包手之厥陰。天池天泉曲澤深し。郄門間使內關對す。大陵勞宮
 中衝備る。

第十 手之少陽三焦經の穴歌 (二十三穴)

二十三穴手之少陽關衝液門中渚の旁ら。陽池外關支溝會す。會宗三
 陽四瀆配す。天井に合して清冷淵に去る。消灑臑會肩膠偏へに。天牖
 天牖同く翳風瘦脈顧息角孫通ず。耳門和髎絲竹空。

第十一 足之少陽膽經の穴歌 (四十三穴)

少陽足之經瞳子膠四十三穴行くこご迢々聽會客主領厭集る懸顧
懸釐曲鬢翹し率谷天衝浮白次く竅陰完骨本神企つ陽白臨泣目窓
開く正營承靈及び腦空風池肩井淵液長し輒筋日月京門當る帶脈
五樞維道續く居膠環跳下る中瀆陽關陽陵復陽交外丘光明陽輔高
し懸鐘丘墟足の臨泣地五俠谿竅陰畢る。

第十二 足之厥陰肝經の穴歌 (十三穴)

足之厥陰十三穴太敦行間に起り大冲中封に接す蠡溝に注ぎ中都
膝關曲泉收む陰包五里に走り陰廉章門期門啓く。

第十三 督脈經の穴歌 (二十七穴)

督脈は背の中行二十七穴長強に始り腰俞陽關命門當る懸樞脊中
筋縮に走り至陽靈臺神道長し身柱陶道大椎の俞痲門風府腦戸に
連り強間後頂百會の前前項顛會上星圓し神庭素膠水溝の裏兌端
巔交斯已矣。

第十四 任脈經の穴歌 (二十四穴)

任脈の分三八會陰に起り曲骨中極關元に上り石門に至る氣海陰
交神闕立つ水分下脘建里に循り中脘上脘巨闕起る鳩尾中庭亶中
慕ふ玉堂紫宮華蓋樹つ璇璣天突廉泉清し願に上り還承漿を以て
承く。

第十五 禁鍼の穴歌 (二十七穴)

二十七穴鍼を忌むべき處あり。腦戶・顛會に神庭の穴承泣・承靈は、
なほ玉枕・角孫・顛顛絡却はせず。神道に靈臺・亶中忌む可きぞ神闕會
陰水分の穴横骨・氣衝手の五里・三陽絡箕門・承筋及び青靈過つて
肩井ふかく刺ぬれば人は氣絶するものこそ知れ。雲門・鳩尾を
嘗て刺すなかれ。また缺盆・客主人なり。

第十六 禁灸の穴歌 (三十八穴)

禁灸は三十八ころあるぞかし。承光・瘻門・風府なりけり。其つぎは
天柱・素膠・臨泣に晴明・攢竹・迎香のかず。第三は禾膠・顛顛・絲竹空・頭維
と下關と脊中の穴乳の中と又人迎と天牖と肩貞・心俞・白環をいむ。

鳩尾と魚際と淵液に少商・天府・腹哀はせず。隱白に漏谷・條口・陰陵泉
灸を忌む可し。陽池・陽關・殷門に委中の穴は猶さらに陰市・申脈・承扶
いましむ。

但し十四經發揮には禁鍼穴は二十二穴、禁灸穴は四十五穴とせるも、事實の相違す
るを以て禁鍼穴は二十七穴、禁灸穴は三十八穴と改めたり。

第二章 解剖學的經穴學

第一節 軀幹

第一 頭蓋部

イ 腦頭蓋部

▲神庭 (テイ)

異名 髮際

鼻根直上の髮際前頭筋附着部にして前頭神經分佈し、前頭動脈之に循る。

上星 (セイ)

異名 神堂、鬼堂

頭蓋の正中線にして前頭部の髮際を入る事一寸の處帽狀腱膜中に在り、前者と同じく前頭神經分佈し、前頭動脈之に循る。

▲額會 (エン)

異名 額門、鬼門、項門

頭蓋の正中線にして前頭部の髮際を入る事一寸五分の處即ち前頭百會に相當し、帽狀腱膜中に在り、前頭神經分佈し、淺顳動脈の前枝之に循る。

前頂 (ゼン)

（チャウ）

頭蓋の正中線にして前頭部髮際を入る事二寸五分の處帽狀腱膜中に在り、前者と同じく前頭神經分佈し、淺顳動脈の前枝之に循る。

百會 (ヒヤク)

異名 三陽五會、三陽巔上、五會、天滿、維會、泥丸宮

左右顛項結節の上中間にして帽狀腱膜中に在り、大後頭神經分佈し、淺顛顛動脈及び後頭動脈の各終枝之に循る。

後頂 (コヤウ) 異名 交衝

後頭骨外後頭結節の上方二寸の處にして帽狀腱膜中に在り、大後頭神經分佈し、後頭動脈之に循る。

強間 (キヤウ) 異名 大羽

後頭骨外後頭結節の上方一寸の處にして帽狀腱膜中に在り、前者と同じく大後頭神經分佈し、後頭動脈之に循る。

▲腦戸 (コナウ) 異名 匣風、會額、合顛

後頭骨外後頭結節の直上、指壓すれば稍や陷なる處、帽狀腱膜中に在り、前者と同じく大後頭神經分佈し、後頭動脈之に循る。

●風府 (フウ) 異名 舌本、惺々、鬼穴、曹谿

後頭骨外後頭結節の直下五分、瘻門の上七分の處、僧帽筋間に在り、後頭下神經并に大後頭神經分佈し、後頭動脈の分枝之に循る。

●攢竹 (サン) 異名 小竹、眉冲、始光、員在、光明、夜光、元柱、明光

眉弓の内端、前頭筋中に在り、三叉神經第一枝の枝別前頭神經分佈し、前頭動脈之に循る。

曲差 (サキョク)

異名鼻衝

眉弓内端の上方、髮際にして前頭筋中に在り、前者と同じく三叉神經の枝別前頭神經分佈し、前頭動脈之に循る。

五處 (シゴ)

眉弓内端の上方、髮際より頭髪中に入る事七分、帽狀腱膜中に在り、三叉神經第一枝の枝別前頭神經及び顔面神經の顳顬枝分佈し、淺顳動脈の前枝并に前頭動脈之に循る。

承光 (シヨウク)

顳頂結節の前内方、髮際より頭髪中に入る事三寸五分、帽狀腱膜中

に在り、三叉神經の淺顳顬神經分佈し、淺顳顬動脈の後枝之に循る。

通天 (テン)

異名天白、天伯

顳頂結節の上内方一寸の處、帽狀腱膜中に在り、大後頭神經分佈し、淺顳顬動脈の後枝之に循る。

絡却 (ラキョク)

異名強陽、腦蓋

後頭骨上項線中部の上一寸の處に在り、後頭筋停止部にして、大後頭神經分佈し、後頭動脈之に循る。

玉枕 (ギョク)

後頭骨上項線の中部、稍や凹みたる處、絡却の下方一寸、夾板筋停止

部に在り前者と同じく大後頭神経分佈し、後頭動脈之に循る。

陽白 (ヤク) 異名楊白

眉弓中央の上方一寸前頭筋中に在り、上眼窠神経分佈し、上眼窠動脈之に循る。

●臨泣 (リン)

眉弓中央の上方髮際を入る事五分の處前頭筋中に在り、上眼窠神経分佈し、上眼窠動脈并に淺顳顳動脈の前枝之に循る。

目窓 (モク) 異名至榮

眉弓中央の上方髮際を入る一寸五分の處帽狀腱膜中に在り、上眼

窠神経分佈し、淺顳顳動脈の前枝之に循る。

正營 (シヤウ)

顳頂結節の前下部眉弓中央の上方髮際を入る事二寸五分の處にして帽狀腱膜中に在り、上眼窠神経分佈し、淺顳顳動脈の後枝之に循る。

▲承靈 (シヨウ)

顳頂結節の後下方五分正中線の兩傍一寸五分の處帽狀腱膜中に在り、大後頭神経分佈し、後頭動脈之に循る。

腦空 (クナウ) 異名顳額

後頭骨外後頭結節の兩傍一寸五分の處即ち上項線の直下に當り後頭筋の起始部に在り大後頭神經分佈し後頭動脈之に循る。

●絲竹空 (シチクウ)

異名 巨膠、目膠

眉弓の外端稍や眉毛に入りたる處前頭筋起始部に在り、顔面神經の顳骨枝并に三叉神經第一枝の末枝分佈し、淺顳動脈之に循る。

●本神 (ホンジン)

外眥直上の髮際前頭筋中に在り、三叉神經第一枝の分枝分佈し、上眼窠動脈并に淺顳動脈の前枝之に循る。

●頭維 (ツヰ)

前頭結節の上方前頭部髮際の外隅前頭筋中に在り、三叉神經の分枝及び顔面神經の顳骨枝分佈し、淺顳動脈の前枝之に循る。

●頷厭 (ガンエン)

顳骨顳突起の上方約二寸の處(稍)や髮際に入る顳筋中に在り、顔面神經の顳骨枝分佈し、淺顳動脈之に循る。

●懸顳 (ケンテン)

顳骨顳突起の上方一寸五分、即ち頷厭の下五分の處顳筋中に在り、前者と同じく顔面神經の顳骨枝分佈し、淺顳動脈之に循る。

●懸釐 (ケンレン)

顳骨顳突起の上方八分即ち懸顳の下七分の處顳筋中に在り、前者と同じく顔面神経の顳枝分佈し、淺顳動脈之に循る。

率谷 (ソツ)

異名 率骨、耳尖

耳翼上根部の上方一寸五分の處(曲鬢の後上方)にして顳筋中に在り、(但し指壓して下顎を運動すれば) 前者と同じく顔面神経の顳枝分佈し、淺顳動脈之に循る。

天衝 (テンウ)

耳翼上根部の後上方にして乳嘴突起の下端より上三寸の處顳筋上際に在り、三叉神経の枝別耳顳神経并に顔面神経の顳枝分佈し、耳後動脈之に循る。

浮白 (フク)

耳後にして乳嘴突起根部の上一寸即ち耳翼上角の後方一寸の處顳筋中に在り、前者と同じく三叉神経の枝別耳顳神経并に顔面神経の顳枝分佈し、耳後動脈之に循る。

窠陰 (ケウイン)

異名 枕骨

乳嘴突起根部の後縁耳後筋中に在り、小後頭神経并に耳後神経分佈し、耳後動脈之に循る。

完主骨 (クワン)

乳嘴突起中央の後縁即ち胸鎖乳嘴筋停止部に在り、大耳神経、小後

頭神經并に耳後神經分佈し、耳後動脈之に循る。

▲客主人 (カクシ ユジン)

異名 客主、太陽、上關、容主

顛顛窩にして、顛骨弓中央の上際、顛筋中に在り、耳顛顛神經分佈し、顛骨眼窠動脈之に循る。

曲 鬢 (キョク ビョク)

異名 曲髮

耳翼上根部の上方五分、髮際に入る處、角孫の上にして、顛筋中に在り、顔面神經の顛顛枝分佈し、淺顛顛動脈之に循る。

和 膠 (ワウ)

顛顛骨顛骨突起の上方五分、顛筋及び耳前筋中に在り、前者と同

じく、顔面神經の顛顛枝分佈し、淺顛顛動脈之に循る。

耳 門 (モン)

顛顛骨顛骨突起根部の上際 (指壓すれば稍や陷にし) 顛筋中に在り、三叉神經の耳顛顛神經分佈し、淺顛顛動脈通じ、耳前動脈之に循る。

▲角 孫 (カク ソン)

顛顛骨部に於て、耳翼上角の上方、髮際に位し、顛筋中に在り、耳上筋起始の前際に相當し、三叉神經の耳顛顛神經分佈し、耳前動脈之に循る。

▲顛 息 (テン ソク) 異名 顛顛

耳後の稍や上部(瘰脈)の上五分の處にして耳後筋上縁に在り耳後神經分佈し耳後動脈之に循る。

瘰脈 (ミヤクイ)

異名 資脈

耳翼の後根乳嘴突起の前上方にして耳後の中部に位し耳後筋中に在り前者と同じく耳後神經分佈し耳後動脈之に循る。

□ 顔面頭蓋部

● 素 膠 (レツ)

異名 面玉 准頭

鼻尖即ち鼻軟骨の尖頂にして鼻壓縮筋中に在り三叉神經第一枝の分枝篩骨神經并に顔面神經分佈し外顎動脈の枝別内眥動脈之

に循る。

水 溝 (スイ)

異名 人中 鬼客廳 鬼宮

鼻中隔の直下人中の正中にして口輪匠筋中に在り顔面神經并に三叉神經の第二枝下眼窠神經分佈し外顎動脈の枝別上唇動脈之に循る。

兌 端 (ダツ)

異名 壯骨

上唇正中の遊離端即ち皮膚と粘液膜との間にして口輪匠筋中に在り前者と同じく顔面神經并に三叉神經の第二枝下眼窠神經分佈し外顎動脈の分枝上唇動脈之に循る。

眼交 (コウ)

上顎骨齒槽突起の前面上唇繫帶の下端にして門齒正中の齒眼部に在り、三叉神経の前上齒槽神経分佈し、内顎動脈の分枝頰筋動脈之に循る。

承漿 (シヨウ)

異名 天地、懸漿、鬼市

頤唇溝の正中即ち下顎骨頤結節の上部にして左右方形頤筋の間在り、顔面神経の枝別下顎皮下神経及び頤神経分佈し、下唇動脈及び頤動脈之に循る。

○晴明 (セイ)

異名 泪孔

鼻根の側方即ち内眦部にして眼輪匠筋中に在り、三叉神経第一枝の滑車上神経分佈し、内眦動脈之に循る。

巨膠 (コ)

外鼻孔の外方上顎骨下眼窠孔の直下五分の處にして方形上唇筋中に在り、顔面神経并に三叉神経の分枝下眼窠神経分佈し、下眼窠動脈之に循る。

●迎香 (ガイ)

異名 衝陽

上顎骨犬齒窩の上方鼻翼の外側にして鼻翼下撃筋中に在り、前者と同じく顔面神経并に三叉神経の分枝下眼窠神経分佈し、下眼窠動脈之に循る。

● 禾 膠 (レクワ)

異名 頤、長頤、長膠、長頰、長頰、

上顎骨犬齒窩部、犬齒筋起始部にして方形上唇筋中に在り、前者と
同じく顔面神経并に三叉神経の分枝下眼窠神経分佈し、下眼窠動
脈之に循る。

▲ 承 泣 (キョウウ)

異名 眼穴、面筋

下眼窠縁部、下眼窠孔の上方にして眼輪匠筋中に在り、前者と同じ
く顔面神経并に三叉神経の分枝下眼窠神経分佈し、下眼窠動脈之
に循る。

四 白 (シハク)

上顎骨下眼窠孔部にして方形上唇筋中に在り、前者と同じく顔面
神経并に三叉神経の分枝下眼窠神経分佈し、下眼窠動脈之に循る。

也 倉 (サウ) 異名 會維、胃維

口角の傍ら四分、口輪匠筋中に在り、顔面神経分佈し、外顎動脈の分
枝之に循る。

瞳子膠 (ドウシ) 異名 後曲、太陽、前關

外眥の外側三分、即ち顳額部に當り、眼輪匠筋中に在り、顔面神経の
顳額枝并に同顳骨枝分佈し、顳骨眼窠動脈之に循る。

● 顴 膠 (クワン) 異名 兎骨

顳骨結節の中央にして咬筋起始部の前縁即ち大顳骨筋の起始に在り、顔面神経の顳骨枝及び三叉神経の分枝顳骨神経の顔面枝分佈し、横顔面動脈之に循る。

●下 關 (クワン)

下顎骨髁状突起の前方、顳骨弓の下際にして上層には咬筋下層には内外翼状筋在り、顔面神経の頰枝并に三叉神経分佈し、横顔面動脈之に循る。

大 迎 (ダイイ) 異名 髓孔

下顎骨前顎骨孔の稍や外方、第二大臼齒の下部にして三角頰筋の後縁に在り、顔面神経の分枝下顎皮下神経分佈し、外顎動脈の分枝

之に循る。

聽 會 (チャウ)

外耳門の前部下顎骨髁状突起の直上にして、顔面神経及び三叉神経の耳顳神経分佈し、耳前動脈之に循る。

聽 宮 (チャウ) 異名 聽呵、後關、耳門

耳前にして下顎關節窩の下際、下顎骨髁状突起の後下部、聽會の下三分口を開けば陷なる部に在り、顔面神経及び三叉神経分佈し、淺顳動脈之に循る。

頰 車 (ケウ) 異名 機關、曲牙

下顎骨隅角の前方にして咬筋中に在り咬筋神經及び顔面神經の分枝下顎皮下神經分佈し内顎動脈の分枝咬筋動脈之に循る。

第二 頸椎之部

イ 前頸部

廉泉 (レンセン)

異名 本池、舌本

甲状軟骨直上の陷凹部に在り左右胸骨舌骨筋停止部の中間に在り顔面神經の分枝上顎皮下神經分佈し上甲状腺動脈之に循る。

天突 (テンツツ)

異名 玉戸、天瞿

胸骨頸截痕上際の中央にして左右胸鎖乳嘴筋内頭の間中に在り、深部に氣管を有し下顎皮下神經分佈し下甲状腺動脈之に循る。

● 人迎 (ジン)

異名 天五會、五會

前頸部甲状軟骨隅角(結喉)の外上方一寸の處にして胸鎖乳嘴筋の前縁に在り舌下神經下行枝及び上顎皮下神經分佈し深部に總頸動靜脈を通ず。

水突 (スイツツ)

異名 水門、水天

前頸部甲状軟骨隅角を外下方に去る約一寸の處即ち人迎の下方にして胸鎖乳嘴筋の前下縁に在り舌下神經下行枝及び下顎皮下神經分佈し深部に總頸動靜脈を通ず。

氣舍 (シヤ)

前頸部喉頭環狀軟骨正中の兩傍一寸二分にして鎖骨の上方五分の處淺部は潤頸筋にして胸鎖乳嘴筋の二頭間に在り副神經及び下頸皮下神經分佈し深部に總頸動靜脈を通ず。

翳風 (フエイ)

耳下腺部に於て乳嘴突起と下顎枝との中間陷凹部即ち耳下腺咬筋膜部に在り顔面神經の耳下腺叢に相當し大耳神經分佈し淺顳顬動脈之に循る。

扶突 (フツ) 異名 水穴

甲狀軟骨の外後方二寸の處胸鎖乳嘴筋中に在り上頸皮下神經及び大耳神經分佈し横頸動脈之に循る。

▲缺盆 (ケツ) 異名 天蓋

鎖骨上窩中央の陷部即ち肺尖部にして胸鎖乳嘴筋起始の外縁潤頸筋中に在り下頸皮下神經及び鎖骨上神經分佈し鎖骨下動靜脈之に通ず。

天鼎 (テン)

頸部の側方鎖骨上窩の上五分胸鎖乳嘴筋後縁潤頸筋中に在り下頸皮下神經并に鎖骨上神經分佈し横頸動脈之に循る。

口 後頸部

● 瘧門 (モア)

異名 瘧門、舌橫、橫舌、舌脈

後頭骨外後頭結節の下方一寸二分即ち第一頸椎後弓と第二頸椎棘状突起との間に在り、僧帽筋間に在り、延髓部、頸椎神經後枝分佈し、後頭動脈の分枝之に循る。

● 天柱 (チユウ)

後頭骨上項線の下方一寸五分正中線の外側一寸の處陷凹中に在り、僧帽筋起始部の外縁に在り、大後頭神經分佈し、後頭動脈之に循る。

風池 (フウ)

乳嘴突起尖端と項部正中との中間にして、僧帽筋と胸鎖乳嘴筋との間夾板筋中に在り、大及び小後頭神經分佈し、後頭動脈之に循る。

● 天牖 (テン)

顛顛骨乳嘴突起尖端の後方に在り、胸鎖乳嘴筋停止部の後縁に在り、小後頭神經分佈し、後頭動脈の分枝之に循る。

天容 (テン)

下顎骨隅角の後方、胸鎖乳嘴筋停止部の後縁に在り、副神經及び小後頭神經分佈し、後頭動脈の分枝之に循る。

天窗 (ソウ)

異名 窓籠

頸部の側方にして胸鎖乳嘴筋中央の後縁に在り、鎖骨上神経及び下頸皮下神経分佈し、外頸動脈及び内頸静脈之に通ず。

第三 背椎之部

イ 胸部

璇璣 (ケン)

胸骨前面の正中線に於て頸截痕上際の直下七分の處に在り、肋間神経分佈し、内乳動脈の分枝之に循る。

華蓋 (カフ)

胸骨頸截痕上際の直下一寸七分(即ち膈中の上三寸)の處に在り、前者と同じく肋間神経分佈し、内乳動脈の分枝之に循る。

紫宮 (シウ)

胸骨頸截痕上際の直下二寸七分(即ち膈中の上二寸)の處に在り、前者と同じく肋間神経分佈し、内乳動脈の分枝之に循る。

玉堂 (ギョウ)

異名 玉英

胸骨劍狀突起尖端の直上三寸五分(即ち膈中の上一寸)の處に在り、前者と同じく肋間神経分佈し、内乳動脈の分枝之に循る。

▲膻中 (チダウ)

異名元兒 上氣海 元見

胸骨劍狀突起尖端の直上二寸五分の處にして、兩乳頭の間中の一
致す前者と同じく肋間神経分佈し、内乳動脈の分枝之に循る。

中庭 (チユウ)

胸骨劍狀突起尖端の直上一寸五分(膻中)の下一寸の處に在り、前者
と同じく肋間神経分佈し、内乳動脈の分枝之に循る。

膺府 (ユフ)

鎖骨の第一肋骨との中間、胸骨正中線の兩傍一寸七分の處、鎖骨下
筋并に大胸筋中に在り、鎖骨下神経分佈し、内乳動脈之に循る。

或中 (ワチュウ)

第一肋間にして胸骨正中線の兩傍一寸七分の處、大胸筋中に在り、
前胸廓神経及び肋間神経分佈し、内乳動脈之に循る。

神藏 (ジンザウ)

第二肋間にして胸骨正中線の兩傍一寸七分の處、大胸筋中に在り、
前者と同じく前胸廓神経及び肋間神経分佈し、内乳動脈之に循る。

靈墟 (レイヨ)

第三肋間にして胸骨正中線の兩傍一寸七分の處、大胸筋中に在り、
前者と同じく前胸廓神経及び肋間神経分佈し、内乳動脈之に循る。

神封 (フシ)

第四肋間にして胸骨正中線の兩傍一寸七分の處、大胸筋中に在り、前者と同じく前胸廓神經及び肋間神經分佈し、内乳動脈之に循る。

步廊 (ホウ)

第五肋間にして胸骨正中線の兩傍一寸七分の處、大胸筋中に在り、前者と同じく前胸廓神經及び肋間神經分佈し、内乳動脈之に循る。

氣戶 (キコ)

鎖骨の直下、乳線部にして即ち鎖骨下筋中に在り、鎖骨下神經分佈し、第一肋間動脈之に循る。

庫房 (ボウ)

第一肋間の乳線部にして淺層に大及び小胸筋、深層に内及び外肋間筋在り、前胸廓神經及び肋間神經分佈し、前肋間動脈之に循る。

屋翳 (エイ)

第二肋間の乳線部にして前者と同じく大及び小胸筋、内及び外肋間筋に在り、前者と同じく前胸廓神經及び肋間神經分佈し、前肋間動脈之に循る。

膺憲 (ヨウ)

第三肋間の乳線部にして前者と同じく大及び小胸筋、内及び外肋

間筋に在り、前者と同じく前胸廓神經及び肋間神經分佈し、前胸動脈之に循る。

● 乳 中 (ニチュウ)

第四肋間即ち乳の正中にして大胸筋内及び外肋間筋に在り、前者と同じく前胸廓神經及び肋間神經分佈し、前胸動脈之に循る。

乳 根 (ニウ)

第五肋間の乳線部にして大胸筋の下部に在り、前者と同じく前胸廓神經及び肋間神經分佈し、前胸動脈之に循る。

▲ 雲 門 (モン) 異名云門

鎖骨外端の下際、大胸筋中に在り、前及び側胸廓神經并に肋間神經分佈し、胸肩峰動脈及び頭靜脈之に循る。

中 府 (チュウ)

前胸壁の外端、大胸筋の上部にして第二肋間の高さ、に在り、前及び側胸廓神經及び肋間神經の側穿行枝分佈し、腋窩動靜脈之に通ず。

周 榮 (シウ)

第二肋間にして乳線を外方に去る一寸五分の處、大胸筋中に在り、側胸廓神經及び肋間神經の側穿行枝分佈し、長胸動脈之に循る。

胸 鄉 (キヤウ)

第三肋間にして乳線を外方に去る一寸五分の處大胸筋中に在り、前者と同じく側胸廓神經及び肋間神經の側穿行枝分佈し長胸動脈之に循る。

天池 (チン)

第四肋間にして乳中の外方一寸の處大胸筋并に前大鋸筋中に在り、前者と同じく側胸廓神經及び肋間神經の側穿行枝分佈し長胸動脈之に循る。

天谿 (ケン)

第四肋間にして乳線を外方に去る一寸五分の處前大鋸筋中に在り、前者と同じく側胸廓神經及び肋間神經の側穿行枝分佈し長胸動脈之に循る。

食竇 (シヨク)

第五肋間にして乳線を外方に去る一寸五分の處前大鋸筋中に在り、前者と同じく側胸廓神經及び肋間神經の側穿行枝分佈し長胸動脈之に循る。

側胸部 (又脇肋部)

極泉 (キョク)

大胸筋停止部の後下縁即ち腋窩毛中にして腋窩神經分佈し腋窩動脈之に循る。

● 淵液 (エケン)

異名泉液

側胸部第四肋間にして乳中を外方に去る三寸の處即ち腋窩の下
部前大鋸筋中に在り側胸廓神經及び肋間神經の側穿行枝分佈し、
肋間動脈之に循る。

輓筋 (スウ)

側胸部第五肋間にして乳中の外方二寸五分淵液の内方五分の處
前大鋸筋中に在り前者と同じく側胸廓神經及び肋間神經の側穿
行枝分佈し肋間動脈之に循る。

大包 (ダイ)

第六肋間にして側胸部の正中前大鋸筋中に在り肋間神經の側穿
行枝分佈し長胸動脈之に循る。

八背部

大椎 (ダイ)

異名百勞

第六及び第七頸椎棘狀突起間にして僧帽筋間に在り背椎神經後
枝分佈し深在項動脈及び横頸動脈上行枝之に循る。

陶道 (トウ)

第七頸椎棘狀突起と第一胸椎棘狀突起との中間にして僧帽筋間
に在り前者と同じく背椎神經後枝分佈し深在項動脈及び横頸動

脈上行枝之に循る。

身柱

(チユウ)

(俗に智利氣と云ふ)

第二及び第三胸椎棘狀突起間にして僧帽筋間に在り前者と同じく背椎神經後枝分佈し後肋間動脈の背枝及び横頸動脈下行枝之に循る。

大神道

(ドシン)

第四及び第五胸椎棘狀突起間にして僧帽筋間に在り前者と同じく背椎神經後枝分佈し後肋間動脈の背枝及び横頸動脈下行枝之に循る。

靈臺

(レイ)

第五及び第六胸椎棘狀突起間にして僧帽筋間に在り前者と同じく背椎神經後枝分佈し後肋間動脈の背枝及び横頸動脈下行枝之に循る。

至陽

(シヤウ)

異名肺底

第六及び第七胸椎棘狀突起間にして僧帽筋間に在り前者と同じく背椎神經後枝分佈し後肋間動脈の背枝及び横頸動脈下行枝之に循る。

筋縮

(シユク)

第八及び第九胸椎棘狀突起間に在り、背椎神經後枝分佈し、後肋間動脈の背枝之に循る。

●脊中 (セウキ)

異名 神宗 脊俞

第十及び第十一胸椎棘狀突起間に在り、前者と同じく背椎神經後枝分佈し、後肋間動脈の背枝之に循る。

肩中俞 (ケンチュ)

第六頸椎棘狀突起を外方に去る一寸五分の處、上層は僧帽筋及び肩胛舉筋下層は菱形筋中に在り、後胸廓神經副神經分佈し、横頸動脈之に循る。

大杼 (ダイシュ)

第七頸椎棘狀突起の兩傍一寸の處、即ち第七頸椎横突起と第一胸椎横突起との間に當り、上層は僧帽筋下層は菱形筋及び後上鋸筋中に在り、副神經後胸廓神經背椎神經後枝及び肋間神經分佈し、横頸動脈下行枝之に循る。

風門 (フウモン)

第一胸椎棘狀突起の兩傍一寸の處、即ち第一第二胸椎横突起間に當り、上層は僧帽筋下層は菱形筋後上鋸筋中に在り、副神經後胸廓神經背椎神經後枝及び肋間神經分佈し、上肋間動脈及び横頸動脈下行枝之に循る。

肺 俞 (ユイ)

第二胸椎棘状突起の兩傍一寸の處即ち第二第三胸椎横突起間に
して上層は僧帽筋下層は菱形筋及び後上鋸筋中に在り前者と同
じく副神經後胸廓神經背椎神經後枝及び肋間神經分佈し上肋間
動脈及び横頸動脈下行枝之に循る。

厥陰 俞 (ケツイ)

第三胸椎棘状突起の兩傍一寸の處即ち第三第四胸椎横突起間に
して上層は僧帽筋下層は菱形筋中に在り副神經後胸廓神經背椎
神經後枝及び肋間神經分佈し後肋間動脈の背枝及び横頸動脈下
行枝之に循る。

● 心 俞 (シン)

第四胸椎棘状突起の兩傍一寸の處即ち第四第五胸椎横突起間に
して僧帽筋中に在り副神經背椎神經後枝及び肋間神經分佈し後
肋間動脈の背枝及び横頸動脈下行枝之に循る。

膈 俞 (カク)

第六胸椎棘状突起の兩傍一寸の處即ち第六第七胸椎横突起間に
して僧帽筋中に在り前者と同じく副神經背椎神經後枝及び肋間
神經分佈し後肋間動脈の背枝及び横頸動脈下行枝之に循る。

肝 俞 (カン)

第八胸椎棘状突起の兩傍一寸の處即ち第八第九胸椎横突起間に
して僧帽筋中に在り前者と同じく副神經背椎神經後枝及び肋間
神經分佈し後肋間動脈の背枝横頸動脈下行枝之に循る。

膽 俞 (ユタン)

第九胸椎棘状突起の兩傍一寸の處即ち第九第十胸椎横突起間に
して上層は僧帽筋下層は潤背筋中に在り副神經背椎神經後枝及
び肋間神經分佈し後肋間動脈の背枝之に循る。

脾 俞 (ヒユ)

第十胸椎棘状突起の兩傍一寸の處即ち第十第十一胸椎横突起間
にして上層は僧帽筋下層は潤背筋中に在り前者と同じく副神經

背椎神經後枝及び肋間神經分佈し後肋間動脈の背枝之に循る。

胃 俞 (キユ)

第十一胸椎棘状突起の兩傍一寸の處即ち第十一第十二胸椎横突
起間にして上層は潤背筋下層は薦骨脊柱筋中に在り背椎神經の
後枝及び肋間神經分佈し後肋間動脈の背枝之に循る。

肩外俞 (ケンゴウユ)

第六頸椎棘状突起を外方に去る二寸即ち肩胛骨上内隅の上方に
して上層は僧帽筋下層は肩胛舉筋中に在り副神經後胸廓神經并
に背椎神經後枝分佈し横頸動脈之に循る。

附分 (ブツ)

第一胸椎棘状突起の兩傍二寸の處即ち第一肋間にして肩胛骨内縁に當り上層は僧帽筋下層は菱形筋中に在り副神經後胸廓神經背椎神經後枝及び肋間神經分佈し横頸動脈下行枝并に上肋間動脈之に循る。

魄戶 (ハク)

第二胸椎棘状突起の兩傍二寸の處即ち第二肋間にして肩胛骨内縁に當り上層は僧帽筋下層は菱形筋中に在り副神經後胸廓神經背椎神經後枝及び肋間神經分佈し横頸動脈下行枝并に上肋間動脈の背枝之に循る。

膏肓 (コウウ) (俗に肩引と云ふ)

第三胸椎棘状突起の兩傍二寸の處即ち第三肋間にして肩胛骨内縁に當り上層は僧帽筋下層は菱形筋中に在り前者と同一く副神經後胸廓神經背椎神經後枝及び肋間神經分佈し横頸動脈下行枝并に後肋間動脈の背枝之に循る。

神堂 (シン)

第四胸椎棘状突起の兩傍二寸の處即ち第四肋間にして肩胛骨内縁に當り上層は僧帽筋下層は菱形筋中に在り前者と同一く副神經後胸廓神經背椎神經後枝及び肋間神經分佈し横頸動脈下行枝并に後肋間動脈の背枝之に循る。

諱

(イキ)

異名五脏俞

第五胸椎棘状突起の兩傍二寸の處即ち第五肋間にして肩胛骨内縁に當り上層は僧帽筋下層は菱形筋中に在り前者は同じく副神經後胸廓神經背椎神經後枝及び肋間神經分佈し横頸動脈下行枝并に後肋間動脈の背枝之に循る。

膈

關

(クワンク)

第六胸椎棘状突起の兩傍二寸の處即ち第六肋間にして肩胛骨下隅の内側に相當し上層は僧帽筋下層は菱形筋中に在り前者は同じく副神經後胸廓神經背椎神經後枝及び肋間神經分佈し横頸動脈下行枝并に後肋間動脈の背枝之に循る。

魂

門

(モン)

第八胸椎棘状突起の兩傍二寸の處即ち第八肋間にして僧帽筋中に在り背椎神經後枝及び肋間神經分佈し後肋間動脈の背枝之に循る。

陽

網

(ヤウ)

第九胸椎棘状突起の兩傍二寸の處即ち第九肋間にして潤背筋中に在り前者と同じく背椎神經後枝及び肋間神經分佈し後肋間動脈の背枝之に循る。

意

舍

(シヤ)

第十胸椎棘狀突起の兩傍二寸の處即ち第十肋間にして、潤背筋中に在り、前者と同じく背椎神經後枝及び肋間神經分佈し、後肋間動脈の背枝之に循る。

胃 倉 (井)

第十一胸椎棘狀突起の兩傍二寸の處にして、上層は潤背筋下層は後下鋸筋及び薦骨脊柱筋中に在り、前者と同じく背椎神經の後枝及び肋間神經分佈し、後肋間動脈の背枝之に循る。

第四 腰椎之部

イ 腹 部

●鳩 尾 (ビウ)

異名 尾翳 臆前

胸骨劍狀突起の直下四分の處にして、白條線中に在り、肋間神經前穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。

巨 關 (ケツ)

胸骨劍狀突起の直下一寸二分臍上四寸八分にして、白條線中に在り、前者と同じく肋間神經前穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。

上 脘 (ジャウ) 異名 上管 胃脘

胸骨劍狀突起の直下二寸臍上四寸の處にして、白條線中に在り、前者と同じく肋間神經前穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。

中脘

(チユク)

異名 太倉 胃脘 上紀

胸骨劍狀突起の直下二寸八分、臍上三寸二分にして白條線中に在り、前者と同じく肋間神經前穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。

建里

(リケン)

胸骨劍狀突起の直下三寸六分、臍上一寸四分にして白條線中に在り、前者と同じく肋間神經前穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。

下院

(ゲワン)

胸骨劍狀突起の直下四寸四分、臍上一寸六分の處にして白條線中に在り、肋間神經前穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。

▲水分

(スイブン)

異名 分水 中守

臍上八分の處にして白條線中に在り、前者と同じく肋間神經前穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。

▲神闕

(ケン)

異名 臍中 命蒂 氣合 維會 氣合

臍の正中にして、前者と同じく肋間神經前穿行枝分佈し、下腹壁動脈之に循る。

陰交

(インカウ)

臍下八分の處にして白條線中に在り、前者と同じく肋間神經前穿行枝分佈し、下腹壁動脈之に循る。

氣海 (カイ)

異名 丹田、膈映、下盲、下氣海

臍下一寸六分の處にして白條線中に在り前者と同じく肋間神經前穿行枝分佈し下腹壁動脈之に循る。

石門 (セキ)

異名 丹田、俞門、利機、精露、命門

耻骨軟骨接合の上際より上方二寸八分即ち臍下二寸四分の處にして白條線中に在り前者と同じく肋間神經前穿行枝分佈し下腹壁動脈之に循る。

關元 (クワン)

異名 丹田、極、三、血、命、門、血、室、下、盲、腎、

精露、利機、子戸、胞門、子宮

耻骨軟骨接合の上際より上方二寸の處白條線中に在り第十二肋間神經の前穿行枝分佈し下腹壁動脈之に循る。

中極 (チュウ)

異名 氣原、玉泉、氣魚

耻骨軟骨接合の上際より上方一寸二分の處にして白條線中に在り腸骨下腹神經分佈し下腹壁動脈之に循る。

曲骨 (キョク)

異名 回骨、屈骨

耻骨軟骨接合の上際左右直腹筋停止部の中間に在り腸骨鼠蹊神經分佈し外陰部動脈之に循る。

幽門 (ユウモン)

異名 上門

胸骨劍狀突起の下方一寸二分(巨闕)に於ける白條線の兩傍五分にして直腹筋中に在り、肋間神經前穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。(備考) 此穴上腕の旁ら眞に近しと「經穴纂要」にあり

通谷 (ツウコク)

胸骨劍狀突起の下方二寸(上腕)に於ける白條線の兩傍五分の處にして直腹筋中に在り、前者と同じく肋間神經前穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。

陰都 (インツ)

異名 食宮、石宮

胸骨劍狀突起の下方二寸八分(中腕)に於ける白條線の兩傍五分の處にして直腹筋中に在り、前者と同じく肋間神經前穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。

石關 (セツカン)

異名 右關

胸骨劍狀突起の下方三寸六分(建里)に於ける白條線の兩傍五分の處にして直腹筋中に在り、前者と同じく肋間神經前穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。

商曲 (セヨク)

異名 高曲

臍の上方一寸六分(下腕)に於ける白條線の兩傍五分にして直腹筋中に在り、前者と同じく肋間神經前穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。

る。

育 脛 (ユクワウ)

脛の兩傍五分の處にして直腹筋中に在り、肋間神經前穿行枝分佈し、下腹壁動脈之に循る。

中 注 (チュウウ)

脛下八分、耻骨軟骨接合上際の上方四寸四分(陰交)に於ける白條線の兩傍五分の處にして直腹筋中に在り、第十二肋間神經前穿行枝分佈し、下腹壁動脈之に循る。

四 滿 (マン)

異名 髓中

脛下二寸四分(石門)に於ける白條線の兩傍五分の處にして直腹筋中に在り、腸骨下腹神經分佈し、下腹壁動脈之に循る。

氣 穴 (ケツ)

異名 胞門、子戸

耻骨軟骨接合上際の上方二寸(關元)に於ける白條線の兩傍五分の處にして直腹筋中に在り、前者と同じく腸骨下腹神經分佈し、下腹壁動脈之に循る。

大 赫 (ダイカク)

異名 陰維、陰關

耻骨軟骨接合上際の上方面一寸二分(中極)に於ける白條線の兩傍五分の處にして直腹筋中に在り、前者と同じく腸骨下腹神經分佈し、下腹壁動脈之に循る。

▲横骨 (コツ)

異名下極

耻骨軟骨接合面上際に於ける白條線の兩傍五分の處にして直腹筋停止部に在り閉鎖神経の分枝及び腸骨鼠蹊神経分佈し下腹壁動脈之に循る。

不容 (ヨウ)

第八肋軟骨尖端の下縁に於て外斜腹筋中にして直腹筋外縁に在り肋間神経側穿行枝分佈し内乳動脈の終枝筋横隔動脈之に循る。

承滿 (ショウマン)

第八肋軟骨尖端の下方八分の處白條線を外方に去る二寸上層は

外斜腹筋にして直腹筋外縁に在り肋間神経側穿行枝分佈し上腹壁動脈之に循る。

梁門 (リヤウモン)

第八肋軟骨尖端の下方一寸六分の處前者と同じく白條線の外方二寸上層は外斜腹筋にして直腹筋外縁に在り肋間神経側穿行枝分佈し上腹壁動脈之に循る。

關門 (クワンモン)

第八肋軟骨尖端の下方二寸四分の處前者と同じく白條線の外方二寸上層は外斜腹筋にして直腹筋外縁に在り肋間神経側穿行枝分佈し上腹壁動脈之に循る。

太乙 (タイイ)

第八肋軟骨尖端の下方三寸二分の處前者と同じく白條線の外方二寸上層は外斜腹筋にして直腹筋外縁に在り、肋間神經側穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。

滑肉門 (クワツモン)

第八肋軟骨尖端の下方四寸の處前者と同じく白條線の外方二寸上層は外斜腹筋にして直腹筋外縁に在り、肋間神經側穿行枝分佈し、上腹壁動脈之に循る。

天樞 (テンシュ)

異名 長谿、谷門、長谷、穀門、長鷄、循環

臍を外方に去る二寸の處上層は外斜腹筋にして直腹筋外縁に在り、前者と同じく肋間神經側穿行枝分佈し、下腹壁動脈之に循る。

外陵 (リゲヤウ)

臍下八分の處を更に外方へ偏する事二寸上層は外斜腹筋にして直腹筋外縁に在り、肋間神經側穿行枝分佈し、下腹壁動脈之に循る。

大巨 (ダイコ)

異名 腋門

臍下一寸六分の處を更に外方へ偏する事二寸上層は外斜腹筋にして直腹筋外縁に在り、腸骨下腹神經及び腸骨鼠蹊神經分佈し、下腹壁動脈之に循る。

水道 (ドスイ)

臍下三寸二分の處を更に外方へ偏する事二寸上層は外斜腹筋にして直腹筋外縁に在り前者と同じく腸骨下腹神經及び腸骨鼠蹊神經分佈し下腹壁動脈之に循る。

歸來 (ライ)

異名 谿穴

臍下四寸の處を更に外方へ偏する事二寸上層は外斜腹筋にして直腹筋外縁に在り前者と同じく腸骨下腹神經及び腸骨鼠蹊神經分佈し下腹壁動脈之に循る。

氣衝

(シヤウ)

異名 氣衝

耻骨軟骨接合の外方二寸即ち歸來の下一寸鼠蹊窩内にしてバルト氏靱帶中央の下部に在り直腹筋停止部にして腸骨鼠蹊神經分佈し淺廻旋腸骨動脈之に循る。

期門 (モン)

異名 肝募

第九肋軟骨附着部の尖端にして乳線に相當し内外斜腹筋中に在り肋間神經側穿行枝分佈し内乳動脈の枝別筋横隔動脈之に循る。

日月 (ジツ)

異名 膽募、神光

第九肋軟骨附着部尖端の下方五分の處にして内及び外斜腹筋中に在り肋間神經側穿行枝分佈し上腹壁動脈之に循る。

● 腹 哀 (フク)

第九肋軟骨尖端の下方一寸五分の處にして内及び外斜腹筋中に在り前者と同じく肋間神經側穿行枝分佈し上腹壁動脈之に循る。

大 横 (ダイ)

異名人横 腎氣

臍を外方に向つて去る三寸五分即ち第九肋軟骨尖端の下方三寸二分の處にして内及び外斜腹筋中に在り肋間神經側穿行枝分佈し淺腹壁動脈の分枝之に循る。

腹 結 (フク)

異名腹屈、腸窟

腸骨前上棘の内上方一寸の處にして内及び外斜腹筋中に在り第

十二肋間神經側穿行枝及び腸骨下腹神經分佈し淺腹壁動脈の分枝之に循る。

府 舍 (フヤ)

耻骨軟骨接合と腸骨前上棘との中間稍や上部の處にして内外斜腹筋中に在り腸骨下腹神經分佈し淺腹壁動脈の分枝之に循る。

衝 門 (モウ)

異名茲宮 上茲宮

鼠蹊部にして耻骨軟骨接合を外方に去る三寸、プーバルト氏靱帯の下部即ち内及び外斜腹筋の下部に在り腸骨鼠蹊神經分佈し下腹壁動脈の分枝并に淺廻旋腸骨動脈之に循る。

維道 (ドユ井)

異名 外樞

腸骨前上棘の前内方五分の處にして、内及び外斜腹筋下縁に在り、腸骨下腹神經及び腸骨鼠蹊神經分佈し、廻旋腸骨動脈之に通ず。

側腹部

章門 (シヤウ)

異名 長平、脇筋、肋膠、季肋、季脇

第十一肋軟骨の尖端内及び外斜腹筋中に在り、肋間神經側穿行枝分佈し、内乳動脈の枝別筋横隔動脈之に循る。

京門 (ケイ)

異名 氣府、氣膻

第十二肋軟骨の遊離端即ち側腹部にして、腸骨櫛中部の上方に當り、上層は潤背筋下層は内外斜腹筋中に在り、肋間神經側穿行枝分佈し、上腹壁動脈の分枝之に循る。(本穴は俗に後章門と云ふ)

帶脈 (ダイヤク)

側腹部第十一肋軟骨遊離端の直下一寸五分の處(章門の下方にして、臍と高さを同ふす)、内及び外斜腹筋中に在り、肋間神經側穿行枝分佈し、下腹壁動脈の分枝之に循る。

五樞 (ゴウ)

腸骨前上棘の内上縁にして、内及び外斜腹筋の下縁に在り、腸骨下腹神經并に腸骨鼠蹊神經分佈し、廻旋腸骨動脈之に循る。

八 腰部

懸樞 (スウ)

第十二胸椎棘状突起の第一腰椎棘状突起との中間にして棘間筋中に在り胸椎神経の後枝分佈し、後肋間動脈の背枝之に循る。

命門 (メイ)

異名 屬累、精宮

第一第二腰椎棘状突起間にして棘間筋中に在り、腰椎神経の後枝分佈し、腰動脈の背枝之に循る。

陽關 (ヤワン)

第三第四腰椎棘状突起間にして棘間筋中に在り、前者と同じく腰椎神経の後枝分佈し、腰動脈の背枝之に循る。

三焦俞 (サウ)

第十二胸椎棘状突起の兩傍一寸の處、即ち第十二胸椎と第一腰椎との横突起間にして上層は潤背筋、下層は薦骨脊柱筋及び方形腰筋中に在り、背椎神経の後枝分佈し、腰動脈の背枝之に循る。

腎俞 (ジン)

第一腰椎棘状突起の兩傍一寸の處、即ち第一第二腰椎横突起間にして上層は腰背筋、下層は薦骨脊柱筋及び方形腰筋中に在り、腰椎神経の後枝分佈し、腰動脈の背枝之に循る。

大腸俞

(ダイイチヤウユ)

第三腰椎棘状突起の兩傍一寸の處即ち第三第四腰椎横突起間に
して上層は腰背筋膜下層は薦骨脊柱筋及び方形腰筋中に在り前
者と同じく腰椎神經の後枝分佈し腰動脈の背枝之に循る。

小腸俞

(シヤウウチヤウユ)

第五腰椎棘状突起の兩傍一寸の處即ち第五腰椎横突起と薦骨翼
の間にして上層は腰背筋膜下層は薦骨脊柱筋及び方形腰筋中に
在り前者と同じく腰椎神經の後枝分佈し腰動脈の背枝之に循る。

盲門

(クワウモン)

終末胸椎棘状突起の兩傍二寸の處にして上層は潤背筋下層は後
下鋸筋及び薦骨脊柱筋中に在り腰椎神經の後枝分佈し腰動脈の
背枝之に循る。

志室

(シツシツ)

第一腰椎棘状突起の兩傍二寸の處にして上層は潤背筋下層は後
下鋸筋及び薦骨脊柱筋中に在り前者と同じく腰椎神經の後枝分
佈し腰動脈の背枝之に循る。

第五 薦骨之部

腰俞

(ユウユ)

異名

髓空 髓俞

背鮮

腰戶

髓孔

腰柱

薦骨と尾閶骨との關節即ち薦骨管裂孔にして、腰背筋膜中に在り、
下腎神經并に薦骨神經の後枝分佈し、坐骨動脈の分枝之に循る。

長強 (キヤウウ)

異名

龜尾、尾骨、擗骨、尾閶、尾蛆骨、
龜骨、窮骨、爲之、陰郛、龍虎、
曹溪路、三分間、河車路、朝天巖、
上天梯、氣之陰郛

尾閶骨の尖端にして、外肛門括約筋中に在り、尾閶骨神經并に外痔
神經分佈し、内陰部動脈の分枝下痔動脈之に循る。

上膠 (ジャウウ)

腹骨後上棘上端と第一薦骨假棘状突起との中間にして、薦骨上關
節突起の下方約七分の處即ち第一後薦骨孔に當り、上層は腰背筋

膜下層は薦骨脊柱筋の起始部在り、薦骨神經の後枝分佈し、側薦骨
動脈之に循る。

但し本穴に次膠中膠及び下膠を總稱して八膠と云ふ。

次膠 (レウ)

腸骨後上棘下端と第二薦骨假棘状突起との中間薦骨上關節突起
の下方一寸四分の處即ち第二後薦骨孔に當り、上層は腰背筋膜下
層は薦骨脊柱筋の起始部在り、前者と同じく薦骨神經の後枝分佈
し、側薦骨動脈之に循る。

中膠 (チュウウ)

第三第四薦骨假棘状突起間の兩傍七分の處薦骨上關節突起の下

方二寸一分即ち第三後薦骨孔に當り上層は腰背筋膜下層は薦骨脊柱筋起始部に在り前者と同じく薦骨神經の後枝分佈し側薦骨動脈之に循る。

下 膠 (レグ)

薦骨管裂孔の兩傍五分の處にして薦骨上關節突起の下方二寸八分第四後薦骨孔に當り上層は腰背筋膜下層は薦骨脊柱筋の起始部在り前者と同じく薦骨神經の後枝分佈し側薦骨動脈之に循る。

膀胱俞 (ボウク)

腸骨後上棘上部の内縁即ち第一薦骨假棘状突起の兩傍一寸五分の處第一後薦骨孔の外側に當り上層は腰背筋膜下層は薦骨脊柱筋の起始部在り腰椎神經の後枝分佈し側薦骨動脈之に循る。

筋の起始部在り腰椎神經の後枝分佈し側薦骨動脈之に循る。

中脊内俞 (チャウリ)

腸骨後上棘下部の内縁にして第二薦骨假棘状突起の兩傍一寸五分の處即ち第二後薦骨孔の外側に當り上層は腰背筋膜下層は薦骨脊柱筋の起始部在り薦骨神經の後枝分佈し側薦骨動脈之に循る。

白環俞 (クワンユ)

異名 腰俞

腸骨後上棘の上部より下方一寸五分第三第四薦骨假棘状突起間の兩傍一寸五分の處上層は腰背筋膜下層は薦骨脊柱筋起始部在り前者と同じく薦骨神經の後枝分佈し側薦骨動脈之に循る。

會陽 (ヤウ) 異名利機

尾閭骨下端の兩傍五分の處上層は大臀筋の起始部下層は肛門舉筋及び肛門括約筋在り會陰神經分佈し下痔動脈之に循る。

第二節 四肢

第一 上肢之部

イ 肩胛部

曲垣 (キョクケン)

肩胛棘の上際にして肩峯突起末端と背椎棘状突起との中間上層は僧帽筋下層は棘上筋の後縁なり肩胛上神經及び副神經分佈し、横肩胛動脈之に循る。

肩井 (ケンセイ) 異名膊井

棘上窩の上中央上層は僧帽筋下層は棘上筋陷中に當り前者と同じく肩胛上神經及び副神經分佈し横肩胛動脈之に循る。

天膠 (テンカウ)

棘上窩に於て肩胛棘中央の前上際上層は僧帽筋下層は棘上筋在り前者と同じく肩胛上神經及び副神經分佈し横肩胛動脈之に循る。

秉風 (フウ)

肩胛棘外端より内方一寸の處肩胛棘の上際にして上層は僧帽筋下層は棘上筋の集合部在り前者と同一く肩胛上神経及び副神経分佈し横肩胛動脈之に循る。

天宗 (テン)

肩胛棘外端より内方一寸五分の處肩胛棘下際の際中にして上層は僧帽筋下層は棘下筋中に在り肩胛上神経及び副神経分佈し横肩胛動脈之に循る。

巨骨 (コツ)

肩胛骨肩峯突起と鳥喙突起との外隅間上層は三角筋下層は棘上筋の集合部に在り腋窩神経分佈し横肩胛動脈の外枝之に循る。

臑兪 (ノウ)

肩胛棘外端の内下方五分の處肩胛骨と上膊骨上端との關節部に在り三角筋中に在り腋窩神経分佈し横肩胛動脈之に循る。

肩髃 (ケン)

異名 中肩中、肩骨、肩尖、髃骨。

肩胛骨肩峯突起と上膊骨大結節との中間にして三角筋中央に在り腋窩神経分佈し後廻旋上膊動脈之に循る、(臂を擧ぐれば陥凹す)

肩髃 (ケン)

肩胛骨肩峯突起の下際、上層は三角筋、下層は棘下筋集合部にして前者と同じく腋窩神経分佈し、横肩胛動脈之に循る。

□ 上膊部

● 天 府 (テン)

上膊骨の前外側鎖骨外端の下方二寸の處、三角筋の内縁にして二頭膊筋中に在り、外膊皮下神経分佈し、上膊動脈の分枝之に循る。

狭 白 (ハクフ)

上膊骨前外側の中央部に於て二頭膊筋の外縁に在り、外膊皮下神経分佈し、上膊動脈并に頭靜脈之に循る。

尺

澤

(シヤク)

異名 鬼受、鬼堂

肘窩の外側二頭膊筋腱の外縁、膊橈骨筋起始部の内縁にして、肘窩横紋の外端に當る、外膊皮下神経分佈し、返廻橈骨動脈之に循る。

曲

澤

(キョク)

肘窩の正中、二頭膊筋腱間に在り、中膊皮下神経及び正中神経分佈し、上膊動脈之に通ず。

天

泉

(テン)

異名 天温

上膊骨前内側の上部、腋窩横紋の下一寸五分の處にして、烏喙膊筋の内縁、二頭膊筋短頭の外縁に在り、内膊皮下神経及び筋皮神経分

佈し正中神經及び尺骨神經を通過し、上膊動脈之に通ず。

▲青 靈 (セイレイ)

上膊骨の前内側、上膊骨内上髁の上方二寸の處にして、上層の二頭膊筋内縁と下層の内膊筋との接際部たる凹陷中に在り、内膊皮下神經及び筋皮神經分佈し、上膊動脈之に通ず。

少 海 (セウカイ)

異名 曲節

上膊骨内上髁の下際、肘窩内側にして、二頭膊筋腱の傍ら、内膊筋停止部の内縁に在り、中膊皮下神經及び正中神經分佈し、返廻尺骨動脈之に循る。

●肩 貞 (ケンテイ)

上膊骨後面の上部、肩峯突起の内下方一寸の處、上層は三角筋後縁にして、下層は棘下筋在り、腋窩神經及び鎖骨上神經分佈し、後廻旋上膊動脈之に循る。

消 灤 (セウレン)

上膊の後面、尺骨鷹嘴突起の上四寸の處、三頭膊筋部にして、三角筋停止部の後下縁に在り、橈骨神經の筋枝及び後膊皮下神經分佈し、深在膊動脈の分枝之に循る。

清 冷 淵 (セイレイエン)

上膊後面の下部にして尺骨鷹嘴突起の上方一寸五分の處三頭筋下部に在り、後膊皮下神經及び後上膊皮下神經分佈し、深在膊動脈の分枝之に循る。

天井 (セイン)

上膊後面の下部にして尺骨鷹嘴突起の直上五分の處三頭筋停止部に在り、後上膊皮下神經及び後下膊皮下神經分佈し、深在膊動脈の分枝之に循る。

小海 (カイ)

尺骨鷹嘴突起の上膊骨内上髁との中間にして内尺骨筋起始部に在り、尺骨神經の主幹を通じ、下尺側副動脈之に循る。

臑會 (ニユ)

異名 臑筋、臑交

上膊骨後面の上部、肩峰突起の下方二寸の處、上層は三角筋停止部の外縁にして、下層に三頭筋在り、後膊皮下神經分佈し、後廻旋上膊動脈之に循る。

臂臑 (ジヒユ)

異名 頭衝

上膊結節部に於て三角筋の停止部に在り、腋窩神經の分枝、後膊皮下神經分佈し、後廻旋上膊動脈之に循る。

▲五里 (ゴリ)

上膊骨の外側螺旋狀溝の下部、外上髁の上二寸五分、三頭筋外縁

に在り、橈骨神經及び後膊皮下神經分佈し、深在膊動脈之に循る。

肘 膠 (チユウ) 異名肘尖

上膊骨外上髁を後上方に去る八分、三頭膊筋の外縁に在り、後膊皮下神經及び後下膊皮下神經分佈し、返廻橈骨動脈之に循る。

曲 池 (キョク) 曲池

上膊骨外上髁と橈骨小頭との間、即ち橈骨側にして伸筋諸筋の起始部に在り、橈骨神經の分岐部に當り、外膊皮下神經分佈し、返廻橈骨動脈之に循る。

八 前膊部

孔 最 (サイ)

橈骨の前面肘窩を下外方に去る四寸、即ち廻前圓筋の停止部に於て、上層は膊橈骨筋内縁、下層は長屈拇筋外縁に在り、外膊皮下神經及び橈骨神經分佈し、橈骨動脈循り頭靜脈之に通ず。

列 缺 (ケツ)

橈骨の前面腕關節の上方一寸二分の處、内橈骨筋腱の外側、長屈拇筋の外縁、廻前方筋中にして前者と同一く、外膊皮下神經及び橈骨神經分佈し、橈骨動脈循り頭靜脈之に通ず。

經 渠 (ケイ)

橈骨の前面、橈腕關節の上方六分の處にして、内橈骨筋腱の外縁、廻前方筋中に在り、前者と同一く、外膊皮下神経及び橈骨神経分佈し、橈骨動脈、循り頭靜脈之に通ず。

大淵 (ダイエン) 異名 太泉

橈腕關節の上、前際、内橈骨筋腱の外側にて、廻前方筋の下縁に在り、外膊皮下神経及び橈骨神経分佈し、橈骨動脈、循り頭靜脈之に通ず。

郄門 (ゲキモン)

前膊の前面、正中線に於ける中央の稍や下部にして、上層は内橈骨筋、下層は淺屈指筋中に在り、正中神経通じ、尺骨動脈の枝別、前骨間動脈之に循る。

間使 (カンシ)

前膊前面の正中線に於て、腕關節横紋の上方二寸五分の處、長掌筋と内橈骨筋との臑間に、して下層に淺屈指筋在り、前者と同一く、正中神経通じ、前骨間動脈之に循る。

内關 (ナクワン) 異名 鬼路

前膊前面の正中線に於て、腕關節横紋の上一寸五分、長掌筋、内橈骨筋の臑間に在り、前者と同一く、正中神経通じ、前骨間動脈之に循る。

大陵 (ダイレイ) 異名 鬼心

腕關節の前面、横紋正中の陷凹部に、して廻前方筋の下縁に在り、正

中神經分佈し、尺骨動脈及び橈骨動脈の分枝之に循る。

靈道 (ドレイ)

尺骨下部の前内緣、豆骨の上方一寸二分、内尺骨筋腱の橈骨側にし、て廻前方筋中に在り、尺骨神經の通路に當り、中膊皮下神經分佈し、尺骨動脈之に循る。

通里 (リツウ)

尺骨下部の前内緣、豆骨の上方八分、内尺骨筋腱の橈骨側にし、て廻前方筋中に在り、中膊皮下神經及び尺骨神經分佈し、尺骨動脈之に循る。

陰郛 (ゲイン)

尺骨下部の前内緣、豆骨の上方四分、内尺骨筋腱下部の橈骨側にし、て廻前方筋中に在り、前者と同じく中膊皮下神經及び尺骨神經分佈し、尺骨動脈之に循る。

神門 (モン)

異名 兌衝、兌骨、中都、銳中

豆骨の上際、内尺骨筋の停止部に在り、中膊皮下神經及び尺骨神經分佈し、尺骨動脈之に循る。

三里 (リサン)

橈骨小頭を外下方に去る一寸五分の處、膊橈骨筋と長外橈骨筋と

の間にして下層に廻後筋在り、橈骨神經の後枝及び外膊皮下神經分佈し、橈骨動脈の分枝之に循る。

上 廉 (レジャウ)

橈骨の外後縁にして、橈骨小頭の下二寸二分の處、膊、橈骨筋と長外、橈骨筋との間に、下層に、廻後筋在り、前者と同じく、橈骨神經の後枝及び外膊皮下神經分佈し、橈骨動脈の分枝之に循る。

下 廉 (レゲン)

橈骨の外後縁にして、橈骨小頭の下二寸七分の處、膊、橈骨筋と長外、橈骨筋との間に、下層に、廻後筋在り、前者と同じく、橈骨神經の後枝及び外膊皮下神經分佈し、橈骨動脈の分枝之に循る。

溫 溜 (ルラン)

異名 逆注、蛇頭、池頭

橈骨外後縁の中央部、即ち、橈腕關節の上方四寸五分の處にして、膊、橈骨筋と長外、橈骨筋との間に、在り、前者と同じく、橈骨神經の後枝及び外膊皮下神經分佈し、橈骨動脈の分枝之に循る。

偏 歷 (レヘン)

橈骨の外後縁、橈腕關節の上方二寸五分の處にして、膊、橈骨筋と長外、橈骨筋との間に、在り、前者と同じく、橈骨神經の後枝及び外膊皮下神經分佈し、橈骨動脈の分枝之に循る。

陽 谿 (ケイウ)

橈腕關節の後外側長及び短伸拇筋腱間の陷中に在り、橈骨神経分佈し、橈骨動脈之に循る。

四 瀆 (トク)

前膊後面の正中線即ち骨間に於て腕關節の上方五寸の處、上層は固有小指伸筋下層は長及び短伸拇筋在り、後下膊皮下神経及び橈骨神経の後枝分佈し、後骨間動脈之に循る。

▲三陽絡

(サンヤ)

異名 通關 通間

前膊後面の正中線に於て腕關節の上方三寸五分、總指伸筋と固有小指伸筋との間にして下層に長及び短伸拇筋在り、前者と同じく後下膊皮下神経及び橈骨神経の後枝分佈し、後骨間動脈之に循る。

支 溝

(シウ)

異名 飛虎

前膊後面の正中線に於て腕關節の上方二寸五分の處、總指伸筋中に在り、前者と同じく後下膊皮下神経及び橈骨神経の分枝分佈し、後骨間動脈之に循る。

外 關

(グワニ)

前膊後面の正中線に於て腕關節の上方一寸五分の處、總指伸筋中に在り、前者と同じく後下膊皮下神経及び橈骨神経の後枝分佈し、後骨間動脈之に循る。

●陽 池

(ヤウチ)

異名 別陽

前膊骨下端と腕骨上端との關節部背面中央の陷中にして總指伸筋と固有小指伸筋との間に在り、後下膊皮下神經、橈骨神經、後枝及び尺骨神經の、手背枝分佈し、腕骨背側動脈之に循る。

支 正 (セイ)

尺骨後面の中央、莖狀突起の上方三寸五分、稍や内側に偏したる處にして、外尺骨筋中央部に在り、中膊皮下神經及び後下膊皮下神經分佈し、後骨間動脈の分枝之に循る。

會 宗 (ソウ)

尺骨の後面にして、腕關節の上方二寸五分の處、外尺骨筋中に在り、前者と同じく中膊皮下神經及び後下膊皮下神經分佈し、後骨間動脈之に循る。

脈之に循る。

養 老 (ヤウ)

尺骨莖狀突起の正中部に在り、中膊皮下神經分佈し、腕骨背側動脈之に循る。

陽 谷 (ヤウ)

尺骨莖狀突起直下の陷凹部に在り、外尺骨筋中に在り、尺骨神經の手背枝分佈し、腕骨背側動脈之に循る。

二 手 部

●魚 際 (サイ)

拇指第一節基底の外角短外轉拇筋の停止部に在り正中神經分佈し、橈骨動脈の分枝之に循る。

●少 商 (セウ)

拇指第一節と末節との關節部の外角長屈拇筋附着部の外縁に在り前者と同じく正中神經分佈し、橈骨動脈の終枝之に循る。

勞 宮 (ラウ)

異名五里、掌中
手掌に於て第二第三掌骨間の中部にして、手掌腱膜中に在り正中神經の手掌枝分佈し、尺骨動脈の末枝淺掌動脈弓之に循る。

少 府 (セウ)

小指第一節基底の前外側小指屈筋停止部に在り、尺骨神經の末枝たる手掌枝分佈し、指掌動脈之に循る。

少 衝 (セウ)

小指第三節中央の外側にて、深屈指筋附着部に在り、前者と同じく尺骨神經の末枝手掌枝分佈し、尺骨動脈の末枝指掌動脈之に循る。

合 谷 (コク)

異名虎口
第一掌骨と第二掌骨との骨間中央部にして、長伸拇筋、總指伸筋、腱膜間に在り、橈骨神經分佈し、橈骨動脈之に循る。

三 間 (サン)

異名 少谷

食指第一節基底の外角固有示指伸筋腱の外縁に在り、橈骨神經手背枝分佈し、指背動脈之に循る。

二 間 (ニ)

異名 間谷

食指第一節と第二節との關節部の外角、總指伸筋腱の停止部に在り、前者と同じく、橈骨神經手背枝分佈し、指背動脈之に循る。

商 陽 (シヤウ)

異名 絶陽

食指末節の爪際の外縁にして、總指伸筋末端附着部に在り、前者と同じく、橈骨神經の手背枝分佈し、指背動脈之に循る。

中 衝 (チュウ)

中指第三節爪根の外縁に在り、即ち總指伸筋腱の附着部に在り、橈骨神經手背枝分佈し、尺骨動脈の末枝之に循る。

中 渚 (チュウ)

環指第一節基底の小指側に於て、總指伸筋中に在り、尺骨神經手背枝分佈し、尺骨動脈の手背枝之に循る。

液 門 (エキ)

環指第一節と第二節との骨間小指側に於て、總指伸筋腱中に在り、前者と同じく、尺骨神經手背枝分佈し、尺骨動脈の手背枝之に循る。

關衝 (クワン)

環指爪根の小指側に於て總指伸筋腱中に在り前者と同一く尺骨神經手背枝分佈し尺骨動脈の手背枝之に循る。

腕骨 (ワン)

尺骨莖狀突起の直下五分の處にして外尺骨筋の停止部及び外轉小指筋中に在り尺骨神經の手背枝分佈し尺骨動脈の腕骨背側動脈之に循る。

後谿 (ケイ)

第五掌骨中央の後内側外轉小指筋中に在り尺骨神經の指背枝分

佈し尺骨動脈の指背枝之に循る。

前谷 (ゼン)

第五指骨第一節基底と第五掌骨との關節部の後内側にして總指伸筋腱中に在り前者と同一く尺骨神經の指背枝分佈し尺骨動脈の指背枝之に循る。

少澤 (セウ)

小指背側の内爪根にして總指伸筋腱の停止部に在り前者と同一く尺骨神經の指背枝分佈し尺骨動脈の指背枝之に循る。

第二 下肢之部

イ 骨盤部

居 髎 (キョ)

腸骨前下棘の外縁即ち維道の後下方一寸の處にして大臀筋停止部の前縁に在り下臀神經分佈し上臀動脈之に循る。

髀 關 (ヒワン)

腸骨前下棘の外下側一寸の處大臀筋前縁に在り外股皮下神經及び上臀神經分佈し上臀動脈之に循る。

環 跳 (クワン)

異名 分中、環谷、髀關、臑骨、臑骨、髀關

大腿骨大轉子と髀白關節上縁との中間の後部にして上層は大臀筋下層は中臀筋の停止部在り上及び下臀神經并に薦骨神經の後枝分佈し、上臀動脈之に循る。

胞 育 (ハフウ)

第一第二薦骨假棘狀突起間の兩傍二寸五分大臀筋の起始部に在り上臀神經及び薦骨神經の後枝分佈し上臀動脈之に循る。

秩 邊 (チツ)

薦骨管裂孔の兩傍二寸二分大腿骨頭の内方にして大臀筋起始部に在り下臀神經及び薦骨神經の後枝分佈し下臀動脈之に循る。

▲會陰 (イン)

異名屏翳、平翳、下陰別、海底

會陰の中央、即ち陰囊後端と肛門との中間(女子に在りては大陰唇) 球海綿體筋の中央に在り、會陰神經分佈し、内陰部動脈の分枝會陰動脈之に循る。

□ 大腿部

伏兔 (フク)

異名外勾

大腿骨前外側にして大腿骨外上髁の上方五寸、外大腿筋中に在り、外股皮下神經及び股神經分佈し、外廻旋股動脈之に循る。

● 陰市 (イン)

異名陰鼎

大腿骨前外側にして大腿骨外上髁の上方二寸五分、外大腿筋中に在り、前者と同じく外股皮下神經及び股神經分佈し、外廻旋股動脈之に循る。

梁丘 (リヤウ)

大腿骨前外側にして大腿骨外上髁の上方二寸、外大腿筋中に在り、前者と同じく外股皮下神經及び股神經分佈し、外廻旋股動脈之に循る。

中瀆 (チュウ)

大腿外側の正中、外上髁の上方四寸、奇穴風市(上肢を下垂し中指末端の直下一寸五分の處、外大腿筋中に在り、外股皮下神經及び股神經の分

枝分佈し、外廻旋股動脈の分枝之に循る。

●陽關 (クワン)

異名 寒府、關陵、陽陵

大腿骨外上髁の上際即ち四頭股筋停止部の外側二頭股筋腱の前方に在り、外股皮下神經及び股神經の分枝分佈し、膝關節動脈の枝別上外膝關節動脈之に循る。

▲箕門 (モン)

大腿内側正中の中央上層は縫匠筋と薄股筋との間に於て下層は内大股筋在り、閉鎖神經及び股神經分佈し、股動脈之に循る。

血海 (ケツ)

異名 百蟲窠

大腿骨内上髁の上際上層は縫匠筋下部下層は内大股筋在り、内股皮下神經及び股神經分佈し、股動脈の上、膝關節動脈之に循る。

陰廉 (イン)

大腿の後内側にして鼠蹊溝の下方一寸五分上層は長内轉股筋下層は短内轉股筋在り、閉鎖神經分佈し、股動脈の分枝内廻旋股動脈之に循る。

五里 (ゴリ)

大腿の後内側にして鼠蹊溝の下方二寸五分上層は長内轉股筋下層は短内轉股筋在り、前者と同一く閉鎖神經分佈し、股動脈の分枝内廻旋股動脈之に循る。

陰包 (ハイン)

異名 陰胞

大腿の内側内上髁の上方二寸の處内大腿筋中に在り、股神經の分枝内股皮下神經分佈し、股動脈の分枝上内膝關節動脈之に循る。

承扶 (フシヨウ)

異名 肉郛、陰關、皮部

臀部豐隆の下緣と大腿後面上部との境界線(坐骨下溝中央にして上層は二頭股筋下層は大内轉股筋在り、下臀神經并に後股皮下神經分佈し、坐骨神經の主幹其外側に在り、坐骨動脈之に循る。

殷門 (モン)

大腿後面の正中線にして二頭股筋と半膜樣筋との中間承扶の下

方三寸に在り、皮下に後股皮下神經、深部に坐骨神經を通じ、股動脈之に循る。

浮郛 (フキ)

膝窩横紋の外端を上方に去る七分の處にして二頭股筋の下部に在り、後股皮下神經及び腓骨神經分佈し、膝窩動脈の分枝上外膝關節動脈之に循る。

委陽 (ヤウ)

膝窩横紋の外端、二頭股筋腱部に在り、前者と同じく後股皮下神經及び腓骨神經分佈し、膝窩動脈の分枝之に循る。

●委中 (チユウ)

異名 郄中、委中英、血郄

膝窩横紋の正中にして腓腸筋の二頭間に在り、脛骨神経分佈し、膝關動脈之に通ず。

ハ 下腿部

犢鼻 (ビク)

膝蓋骨の外下側脛骨結節の外上側陷凹部にして、膝蓋固有靱帯の外下側に在り、本穴は三里と膝眼(奇穴)とに由りて三角形をなす脛骨及び腓骨神経の關節枝分佈し、膝關節動脈網之に循る。

三里 (サン)

異名 下陵三里、鬼邪

脛骨上端と腓骨小頭との關節部の下方二寸の處前脛骨筋と長總趾伸筋との起始間にして、稍や長總趾伸筋に偏す、深腓骨神経分佈し、前脛骨動脈之に循る。

上巨虚 (ジャウ)

異名 巨虚上廉、上廉

腓骨小頭を斜に前下方に去る三寸即ち三里の下一寸脛腓兩骨間にして、前脛骨筋と長總趾伸筋との間に在り、前者と同じく深腓骨神経分佈し、前脛骨動脈之に循る。

●條口 (コウ)

下腿の前外側脛骨腓骨兩骨間の稍や中央部にして腓骨小頭を斜めに前下方に去る四寸即ち三里の下二寸に當り前脛骨筋と長總趾伸筋との間に在り前者と同じく深腓骨神経分佈し前脛骨動脈之に循る。

下巨虛 (ゲコ)

異名 巨虛下廉、下廉

下腿の前外側脛骨腓骨兩骨間にして腓骨小頭の前下方四寸五分即ち三里の下二寸五分の處前脛骨筋と長總趾伸筋との間に在り前者と同じく深腓骨神経分佈し前脛骨動脈之に循る。

解谿 (ケイ)

異名 鞋帶

脛骨と跗骨との關節間即ち十字靭帯に在りて前脛骨筋腱の外側

陷中なり前者と同じく深腓骨神経分佈し前脛骨動脈之に循る。

陽陵泉 (ヤウリヤ)

異名 陽之陵泉、陽陵

外上髌の下方腓骨小頭の前上方五分の處長腓骨筋起始に在り腓骨神経の分枝分佈し前脛骨動脈の分枝後返廻脛骨動脈之に循る。

豐隆 (ホウリウ)

下腿外側腓骨の前面腓骨小頭の下方三寸條口の上外側一寸の處長總趾伸筋の外縁に在り淺腓骨神経分佈し前脛骨動脈之に循る。

陽交 (ヤウカウ)

異名 別陽、足竊

腓骨小頭を外下方に去る五寸の處外髌の上五寸五分即ち豐隆の

外下方にして長總趾伸筋中に在り、深腓骨神經分佈し、前脛骨動脈の分枝之に循る。

外丘 (キウ)

腓骨小頭の直下四寸五分、外踝の上方五寸五分、長腓骨筋と長總趾伸筋との間に在り、淺腓骨神經分佈し、前脛骨動脈の分枝之に循る。

光明 (クワウ)

外踝の前上方五寸の處にして腓骨の前縁に當り、長總趾伸筋と長腓骨筋との間に在り、淺腓骨神經分佈し、前脛骨動脈の分枝後返廻脛骨動脈之に循る。

陽輔 (ヤウ)

異名 絶骨、分肉

外踝の稍や前上方三寸五分、腓骨の前方にして長總趾伸筋と長腓骨筋との間に在り、淺腓骨神經分佈し、腓骨穿行動脈之に循る。

懸鐘 (ケン)

異名 絶骨、髓會

外踝の稍や前上方三寸の處、腓骨の前縁に當り、短腓骨筋中に在り、前者と同じく淺腓骨神經分佈し、腓骨穿行動脈之に循る。

曲泉 (キョク)

脛骨内關節靨の下際にして半腱及び半膜樣筋の停止部に在り、サフエヘナ神經分佈し、下内膝關節動脈之に循る。

膝關 (クシワツ)

下腿の内側脛骨内關節の下方一寸五分の處腓腸筋部に在り、サフエヘナ神經并に脛骨神經分佈し、後脛骨動脈の分枝之に循る。

中都 (トチュウ) 異名 中郛

脛骨前内面の中央内踝の上五寸五分に在り、前者と同じく「サフエヘナ」神經并に脛骨神經の分枝分佈し、後脛骨動脈の枝別之に循る。

蠡溝 (レイウ) 異名 交儀

内踝の前上方四寸五分、脛骨の前内面にして前者と同じく「サフエヘナ」神經并に脛骨神經の分枝分佈し、後脛骨動脈の枝別之に循る。

陰陵泉 (インリョウセン) 異名 陰之陵泉

下腿の内側脛骨内關節の下内縁に當る陷凹部即ち半腱及び半膜様筋の停止部にして腓腸筋内頭の内縁に在り、前者と同じく「サフエヘナ」神經并に脛骨神經分佈し、後脛骨動脈之に循る。

地機 (チキ) 異名 脾舍

脛骨の後内縁内關節の下二寸五分内踝の上方八寸の處にして比目魚筋内縁に在り、前者と同じく「サフエヘナ」神經并に脛骨神經分佈し、後脛骨動脈之に循る。

漏谷 (ロクウ) 異名 大陰絡

脛骨後内縁と腓腸筋内縁との間比目魚筋部にして内踝の上五寸の處に在り前者と同じく「サフエヘナ」神經并に脛骨神經分佈し後脛骨動脈之に循る。

三陰交 (サンカイ)

脛骨の後内縁にして内踝の上方二寸五分即ち内踝より一握上の示指上縁に當り長總趾屈筋中に在り前者と同じく「サフエヘナ」神經并に脛骨神經分佈し後脛骨動脈之に循る。

交信 (シカウ)

内踝の直上二寸にして脛骨下部の後内縁即ち三陰交の後下方七分の處長總趾屈筋中に在り脛骨神經分佈し後脛骨動脈之に通ず。

陰谷 (コク)

膝窩中央の横紋の内端即ち脛骨内關節踝の下際に當り薄股筋中に在り(委中と並列す)股神經及び脛骨神經の分枝分佈し膝窩動脈の分枝之に循る。

築賓 (チク)

内踝の後上方四寸五分の處比目魚筋と腓腸筋との間に在り脛骨神經分佈し後脛骨動脈之に通ず。

復溜 (リウク)

異名 伏白、昌陽、伏日

内踝の後上方一寸五分の處脛骨とアキリス腱との中央陷中にし

て後脛骨筋中に在り前者と同じく脛骨神経分佈し後脛骨動脈之に通ず。

大 谿 (ケイ)

異名 呂細

内髁ニアキリス腱との中間陷中にして前者と同じく脛骨神経分佈し後脛骨動脈之に循る。

合 陽 (ガフ)

膝膕窩横紋の中央(委中)の下方一寸五分の處にして腓腸筋中に在り前者と同じく脛骨神経分佈し深部に後脛骨動脈を通ず。

▲承 筋 (シヤウ)

異名 膕膈 直膈

下腿の後面膝膕窩横紋の下方三寸五分の處にして腓腸筋部の正中線に在り前者と同じく脛骨神経分佈し後脛骨動脈之に通ず。

承 山 (シヤウ)

異名 魚腹 肉柱 傷山 魚腰

下腿の後面膝膕窩横紋中央の下方五寸五分腓腸筋豊隆部の下縁に在り前者と同じく脛骨神経分佈し後脛骨動脈之に通ず。

飛 陽 (ヒウ)

異名 厥陽 厥揚 飛揚

腓骨外面の後側外髁の後上方四寸五分の處即ち腓腸筋の外縁に在り腓骨神経及び腓骨神経交通枝分佈し腓骨動脈之に通ず。

跗 陽 (フウ)

腓骨の外後縁にして外踝の後上方一寸五分の處アキリス腱の外縁に在り、淺腓骨神經及び腓骨神經交通枝分佈し、腓骨動脈之に循る。

崑崙 (ロン)

異名下崑崙

外踝ニアキリス腱の中央陷凹中に在り、淺腓骨神經及び脛骨神經交通枝分佈し、後外踝動脈之に循る。

二足部

大鐘 (ダヨウ)

内踝の後下部アキリス腱の内側陷凹中にして長屈趾筋中に在り、脛

骨神經の末枝分佈し、後脛骨動脈の終枝之に循る。

水泉 (スイ)

内踝の後下部跟骨結節の前上部にして外轉趾筋起始部に在り、脛骨神經の末枝分佈し、後脛骨動脈の終枝之に循る。

照海 (セウ)

異名陰蹻

内踝の下七分の處陷凹中にして外轉趾筋中に在り、前者と同じく脛骨神經の末枝分佈し、後脛骨動脈の終枝之に循る。

商丘 (シヤウ)

内踝前下部の陷凹中、十字靭帶の下側に在り、前脛骨筋と長伸趾筋

この臑間に在り、脛骨神經分佈し、内跗骨動脈之に循る。

公孫 (ツクウ)

足背の足蹠に移行せんごする内側中央の稍や前方に一の突起状の骨あり是れ即ち第一蹠骨の基底にして該骨の前内側陷凹部外轉蹠筋中に在り、脛骨神經の足蹠枝分佈し、足背動脈之に循る。

大白 (ダイ)

第一蹠骨末端の内側足背ご足蹠ごの境界部に在り、外部より探ぐれば梅核の如き骨後の陷凹中外轉蹠筋末端に在り、前者ご同じく脛骨神經の足蹠枝分佈し、足背動脈之に循る。

大都 (ダイ)

蹠趾第一節の前内側外轉蹠筋の停止部に在り、前者ご同じく脛骨神經の足蹠枝分佈し、足背動脈之に循る。

● 隱白 (イン)

異名 鬼壘 鬼眼

蹠趾爪根の内側長伸蹠筋腱末端の内側に在り、前者ご同じく脛骨神經の足蹠枝分佈し、足背動脈之に循る。

中封 (チュウ)

異名 懸泉

内踝の前外方一寸陷中にして前脛骨筋腱の外側に在り、サフエヘナ神經分佈し、前脛骨動脈の分枝内跗骨動脈之に循る。

太冲

(チユウ)

異名 大衝

第一蹠骨と第一楔状骨との關節部にして、内踝の前下方に突起状の骨節あり、是れ即ち舟状骨にして本穴は其前上方に相當し、前脛骨筋の附着部に在り、淺腓骨神經の終枝分佈し、内跗骨動脈之に循る。

大敦

(ダイ)

異名 大順、水泉

蹠趾第二節爪根の上際、長及び短伸躡筋腱中に在り、淺及び深腓骨神經の終枝分佈し、第一背骨間動脈之に循る。

衝陽

(シヤウ)

異名 會原

足背の高處にして十字靭帶の下方五分即ち第一第二楔状骨と第二蹠骨との關節部に當り、長及び短伸躡筋間に在り、淺及び深腓骨神經分佈し、前脛骨動脈之に循る。

陷谷

(コク)

第一第二蹠骨間の中央に於て短伸躡筋腱中に在り、前者と同じく淺及び深腓骨神經分佈し、前脛骨動脈の終枝之に循る。

行间

(カン)

蹠趾背側第一趾骨基底の稍や外部に倚りたる處、即ち第一第二趾骨間にして短伸躡筋腱の外側に於て骨間筋中に在り、淺及び深腓骨神經分佈し、第一背骨間動脈之に循る。

内庭 (ナイ)

第二趾第二節基底の前外側にして長及び短總趾伸筋腱中に在り、淺及び深腓骨神經分佈し前脛骨動脈の終枝之に循る。

厲兌 (レイ)

第二趾第三節背面の外側爪際に在り長及び短總趾伸筋腱中に在り、前者と同じく淺及び深腓骨神經の末枝分佈し前脛骨動脈の終枝之に循る。

丘墟 (キウ)

外踝の前下方にして稍や陷なる處長總趾伸筋腱中に在り、淺腓骨

神經分佈し腓骨動脈穿行枝及び外跗骨動脈之に循る。

臨泣 (リン)

外踝の前方二寸稍や小趾側に倚りたる處にして第四第五蹠骨間後側の陷凹部に當り長及び短總趾伸筋腱中に在り、脛骨神經交通枝分佈し前脛骨動脈の分枝背骨間動脈之に循る。

地五會 (チゴ)

第四第五蹠骨間の前部にして長及び短總趾伸筋腱中に在り、前者と同じく脛骨神經交通枝分佈し背骨間動脈之に循る。

俠谿 (ケイ)

第四趾第一節基底の外側に於て長及び短總趾伸筋腱中に在り前者と同じく脛骨神経交通枝分佈し背骨間動脈之に循る。

竅陰 (イケン)

第四趾爪根の外側に於て長及び短總趾伸筋腱中に在り前者と同じく脛骨神経交通枝分佈し背骨間動脈之に循る。

僕參 (ボクサン)

異名安邪

跟骨結節後下部の稍や外側に偏したる處即ちアキリス腱停止部の外側に在り淺腓骨神経及び腓骨神経交通枝分佈し腓骨動脈の枝別之に循る。

申脈 (シヤク)

異名陽蹻 鬼路

外踝の下部凹陷中にして短總趾伸筋起始部に在り脛骨神経交通枝分佈し腓骨動脈穿行枝之に通ず。

金門 (キンモン)

異名關梁

外踝の前下方五分跟骨と骰子骨との間凹陷部に於て短總趾伸筋中に在り腓骨神経交通枝分佈し腓骨動脈穿行枝之に循る。

京骨 (キヤウ)

足背と足蹠の境界部に於て骰子骨と第五趾骨との關節部の陷中外轉小趾筋中に在り外足蹠神経分佈し腓骨動脈穿行枝之に循る。